本書の構成

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくための留意事項や、本書の表記について説明しています。必ずお読みください。

第 1 章　ご購入後の操作

お買い求めいただいたパソコンを使えるようにするための操作を説明しています。必ず本書の手順に従って操作してください。

第 2 章　快適にお使いいただくために

コンピュータウイルスや、画面の設定方法などについて説明しています。

第 3 章　リカバリとインストール

本パソコンをご購入時の状態に戻す「リカバリ」とソフトウェアの「インストール」について説明します。

第 4 章　困ったときに

おかしいなと思ったときや、わからないことがあったときの対処方法について説明しています。

第 5 章　技術情報

ファイルシステムの変換方法や留意事項などについて説明しています。

目次

本書をお読みになる前に 5
お問い合わせ一覧 5
本書の表記 6

第 1 章　ご購入後の操作
1 セットアップ 10
WindowsNT セットアップ 10
2 ユーザー登録とバックアップ 13
ユーザー登録を忘れずに 13
リカバリ CD-ROM 起動ディスクのコピー 13
ドライバのバックアップ 14
3 プレインストール仕様 15
ソフトウェア一覧 15
デバイス一覧 17
ドライブ構成 18

第 2 章　快適にお使いいただくために
1 コンピュータウイルス対策 20
VirusScan 20
コンピュータウイルスを発見した場合 21
コンピュータウイルスの被害届け 21
2 画面を設定する 23
解像度と色数 23
表示装置を切り換える 26
3 ネットワークを設定する 27
ネットワークの設定 27
4 Portables Suite 28
Portables Suite の特長 28
Portables Suite のインストール 28
Portables Suite のアンインストール 30
PowerPanel の操作方法 33
Save To Disk 機能 35
サスペンド／レジューム機能 37
Card Executive の操作方法 41
NoteDock の操作方法 43
5 Intel® SpeedStep™ テクノロジ 45

第 3 章　リカバリとインストール

1 リカバリ 48
リカバリの概要 48
リカバリ方法 49
2GB を超える区画にリカバリを行う場合 51
2 ソフトウェアのインストール 52
操作に必要なもの 52
ドライバのインストール 52
プレインストールソフトのインストール 55
添付ソフトのインストール 57

第 4 章　困ったときに

1 こんなときには 64
トラブル発生時の参照先 64
WindowsNT に関する Q&A 64
2 それでも解決できないときは 71
お問い合わせ前の確認シート 72

第 5 章　技術情報

1 その他の留意事項 74
2 ファイルシステムの変換 83
3 PHDISK ユーティリティについて 84
PHDISK ユーティリティの概要 84
PHDISK ユーティリティの使用方法 84

索引 87

本書をお読みになる前に

お問い合わせ一覧

本パソコンに添付されているソフトウェアの内容については、次の連絡先にお問い合わせください。なお、記載の情報は、2000 年 5 月現在のものです。電話番号などが変更されている場合は、FM インフォメーションサービスへお問い合わせください。

- **はじめよう！インターネット（@nifty）**
  - 入会／ @nifty サービス全般
    ニフティ株式会社 @nifty サービスセンター
    9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
    電話：0120-816-042
    （携帯・PHS・海外の場合：03-5444-2902）
    E-mail：feedback@nifty.com
  - テクニカルサポート
    ニフティ株式会社 @nifty サービスセンター
    9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
    電話：0120-818-275
    （携帯・PHS・海外の場合：03-5753-2373）
    E-mail：feedback@nifty.com
  - パスワード再発行／各種手続き／解約
    ニフティ株式会社 @nifty カスタマーセンター
    9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
    電話：0120-842-210
    （携帯・PHS・海外の場合：03-5471-5806）
    E-mail：feedback@nifty.com
- **NIFTY MANAGER for Windows Version 5.12**
  ニフティマネジャーでの接続や操作方法について
  ニフティ株式会社 ニフティマネジャー
  サポートセンター
  9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
  電話：0120-326-526
  （携帯・PHS・海外の場合：03-5471-5806）
  E-mail：feedback@nifty.com
- **NIFTY SERVE（パソコン通信サービス）の利用に関して**
  ニフティ株式会社 パソコン通信サポート
  センター
  9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
  電話：0120-22-1200
  （携帯・PHS・海外の場合：03-5471-5806）
  E-mail：feedback@nifty.com
- **VirusScan for Windows NT**
  日本ネットワークアソシエイツ株式会社
  テクニカルサポートセンター
  9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00（土日、祝祭日を除く）
  電話：03-3379-7770
- **Adobe Acrobat Reader4.05**
  ソフトウェア提供会社様より無償で提供されている製品のため、ユーザーサポートはございません。ご了承ください。
- **アプリケーション（カスタムメイドオプション）**
  各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。
- **その他　FM シリーズの技術的なご質問・ご相談**
  FM インフォメーションサービス
  （添付の『修理サービス網一覧表』をご覧ください）

本ソフトウェア製品の中には第三者のソフトウェア製品が含まれています。お客様の本ソフトウェア製品の使用開始については、お客様が弊社の「ご使用条件」に同意された時点とし、第三者のソフトウェア製品についても同時に使用開始とさせていただきます。
なお、第三者のソフトウェアについては、製品の中に特に記載された契約条件がある場合には、その契約条件にしたがい取り扱われるものとします。

本書の表記

本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	ハードウェアやソフトウェアを正しく動作させるために必要なことが書いてあります。必ずお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「＋」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

```
diskcopy  a:  a:
          ↑   ↑
```

- ↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キー（キーボード手前中央にある何も書かれていない横長のキー）を 1 回押してください。
- コマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。
- CD-ROM ドライブのドライブ名を、［CD-ROM ドライブ］と表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

```
[CD-ROMドライブ]:¥setup.exe
```

画面例

本書に記載されている画面は一例です。実際に表示されるウィンドウやファイル名などとは異なる場合があります。ご了承ください。

連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

BIOS セットアップの表記

本文中の BIOS セットアップの設定手順において、各メニューやサブメニューまたは項目を、「ー」（ハイフン）でつなげて記述する場合があります。

例：「メイン」メニューの「フロッピーディスク A」の項目を「使用しない」に設定します。

↓

「メイン」ー「フロッピーディスク A」：使用しない

フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブ

フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブが搭載されていないモデルの場合、各ドライブが必要な操作では、別売のオプションを用意してください。使用できるオプションについては、『システム構成図』をご覧ください。

オプションの使用方法についてはオプションのマニュアルをご覧ください。

お問い合わせ先／ URL

本文中に記載されているお問い合わせ先や WWW の URL は 2000 年 5 月現在のものです。変更されている場合は、FM インフォメーションサービスへお問い合わせください（→『修理サービス網一覧表』参照）。

製品の呼びかた

本書に記載されている製品名称を、次のように略して表記します。

Microsoft® Windows® 2000 Professional を、Windows2000 と表記しています。

Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION を、Windows98 と表記しています。

Microsoft® Windows® 95 operating system を、Windows95 と表記しています。

Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0 を、WindowsNT 4.0 または WindowsNT と表記しています。

Microsoft® MS-DOS® operating system Version 6.2/V を、MS-DOS と表記しています。

VirusScan for Windows NT を、VirusScan と表記しています。

NIFTY MANAGER for Windows Ver 5.12 を、NIFTY MANAGER と表記しています。

Alps GlidePoint Driver for Windows NT® 4.0 を、GlidePoint と表記しています。

Phoenix® Portables Suite を、Portables Suite と表記しています。

Intel® SpeedStep™ Technology Applet を、Intel SpeedStep と表記しています。

Adobe® Acrobat® Reader 4.05 を、Acrobat Reader と表記しています。

ドライバーズ CD ／マニュアル CD をドライバーズ CD と表記しています。

機種名表記

本文中の機種名表記は、次のようになっています。機種名を確認してください。

機種名	本文中の表記	
FMV-6750NA7/B	〔NA〕	本パソコン パソコン本体
FMV-6650NU7/L FMV-6600NU7/L FMV-650NU7C/L FMV-650NU7C/W	〔NU〕	
FMV-6600MF7/X FMV-645MF7C/W	〔MF〕	

モデル	本文中の表記
モデムのみ搭載	モデムモデル
LAN のみ搭載	LAN モデル
モデムと LAN 搭載	コンボモデル
モデムと PDC コネクタ搭載	モデムモデル（PDC コネクタ付き）

Microsoft、Windows、MS、MS-DOS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
K56flex は、Lucent Technologies 社、Conexant Systems Inc. の商標です。
VirusScan は、米国 Network Associates 社及び関連会社の商標又は登録商標です。
Phoenix は、米国 Phoenix Technologies 社の登録商標です。
Intel® SpeedStep™ Technology は、米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2000
画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

第 1 章

ご購入後の操作

お買い求めいただいたパソコンを使えるようにするための操作を説明しています。必ず本書の手順に従って操作してください。

1　セットアップ 10
2　ユーザー登録とバックアップ 13
3　プレインストール仕様 15

1 セットアップ

初めて電源を入れたあとに行う WindowsNT の初期設定（WindowsNT セットアップ）について説明します。必ず、本書の手順に従って操作してください。

WindowsNT セットアップ

次の「留意事項」をよくお読みになり、電源を入れて WindowsNT セットアップを始めます。なお、内蔵ポインティングデバイスがない場合 には、あらかじめマウスを用意してください。

留意事項

- WindowsNT セットアップを行う前に、オプションを取り付けないでください（カスタムメイドオプションを除く）。
  正しくセットアップされないことがあります。
- WindowsNT セットアップを行う前にメモリを増設しないでください。正しくセットアップされないことがあります。
- WindowsNTセットアップが完了するまで､PCカードをPCカードスロットにセットしないでください。正しくセットアップされないことがあります。
- ワイヤレスマウス添付モデルは､内蔵ポインティングデバイスで WindowsNT セットアップを操作してください。

セットアップ

1 内蔵ポインティングデバイスがない場合、マウスを取り付けます（→『ハードウェアガイド』参照）。

2 AC アダプタを接続し、本パソコンの電源を入れます。
しばらくすると、「Windows NT Workstation セットアップ」ダイアログボックスが表示され、セットアップが始まります。

3 「次へ」をクリックします。
「使用許諾契約」が表示されます。
「使用許諾契約」とは、本パソコンにあらかじめインストールされている WindowsNT を使用するうえでの契約を記述したものです。

4 「使用許諾契約」をよく読み、「同意します」をクリックし、「次へ」をクリックします。

POINT

- 「同意しません」をクリックし、「次へ」をクリックすると、「…使用許諾契約に同意しないと指定しました。」と表示されます。「いいえ」をクリックすると「使用許諾契約」のダイアログボックスに戻ります。「はい」をクリックすると「致命的なエラー」ダイアログボックスが表示されるので「OK」をクリックしてください。次に表示されるダイアログボックスで「閉じる」をクリックすると、本パソコンが再起動します。

「名前と組織名」のダイアログボックスが表示されます。

5 「名前」と「組織名」を入力し、「次へ」をクリックします。

組織名は省略できます。
コンピュータ名を入力するダイアログボックスが表示されます。

6 コンピュータ名を入力し、「次へ」をクリックします。

「管理者アカウント」ダイアログボックスが表示されます。

7 「パスワード」と「パスワードの確認入力」にパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。

POINT

- パスワードでは大文字／小文字が区別されます。
- 「パスワード」を入力して「次へ」をクリックした場合、「戻る」をクリックして再びパスワードの設定画面に戻ることはできません。

「セットアップは終了しました」と表示されます。

8 「完了」をクリックします。

本パソコンが再起動し、「オペレーティングシステムの選択」画面が表示されます。

9 【Enter】キーを押します。

しばらくすると、「ログオンの開始」ダイアログボックスが表示されます。

10 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。

「ログオン情報」ダイアログボックスが表示されます。

11 手順 7 で入力したパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

「ようこそ」ダイアログボックスが表示されます。

12 「閉じる」をクリックします。

13 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックします。

「Windows のシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。

14 「コンピュータを再起動する」をクリックし、「はい」をクリックします。

本パソコンが再起動します。

15 ログオン後、「はじめよう！ FMV」アイコンをダブルクリックします。

「はじめよう！ FMV」ダイアログボックスが表示されます。

16 「OK」をクリックします。

自動設定が行われ、本パソコンが再起動します。アイコンが消えたら、設定は終了です。

重 要

- アイコンが消えるまで、キーボードやポインティングデバイスを操作しないでください。

これで、WindowsNT セットアップが完了しました。カスタムメイドオプションでアプリケーションを選択している場合は、添付の『アプリケーション補足説明書』をご覧ください。

2 ユーザー登録とバックアップ

セットアップが終了したら、ユーザー登録、起動ディスクのコピーおよびドライバのバックアップを行ってください。

ユーザー登録を忘れずに

本パソコンが使用できる状態になったら、添付のユーザー登録カードに必要事項を記入し、投函してください。
ユーザー登録カードは、弊社やソフトウェア会社が自社製品のユーザーを把握し、さまざまな情報を提供する際に利用するものです。
ソフトウェアのバージョンアップ（ソフトウェアの機能を強化し、版数を上げること）時や電話相談などには、ユーザー登録をしていることが条件ですので、忘れずに投函してください。

リカバリ CD-ROM 起動ディスクのコピー

本パソコンに添付されている「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」には、リカバリ（→ P.48）に必要なファイルが含まれています。このディスクは、リカバリ時だけでなく、PHDISK などの MS-DOS から実行するユーティリティの起動ディスクとしても、使用します。
次のものを用意してください。

- リカバリ CD-ROM 起動ディスク
- フロッピーディスクのラベル 1 枚（購入してください）
- 1.44MB フォーマット済 2HD フロッピーディスク 1 枚（購入してください）

コピー方法

「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を次の方法でコピーし、原本を保管用として普段はコピー（複製）を使用してください。

1 添付されている「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットします。

2 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。

3 「3.5 インチ FD（A:）」アイコンを右クリックし、「ディスクのコピー」をクリックします。
「ディスクのコピー」ダイアログボックスが表示されます。

4 コピー元とコピー先に「3.5 インチ FD（A:）」が選択されていることを確認し、「開始」をクリックします。
メッセージに従ってコピーを作成してください。

5 コピーが終了したら「閉じる」をクリックします。

6 コピーしたバックアップディスクに、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」と記入したラベルを貼り、書き込み禁止の状態にします。
ラベルには「作業用」と記入し、お使いのパソコンの機種名を記入しておくことをお勧めします。

ドライバのバックアップ

本パソコンに添付の「ドライバーズ CD」から、「バックアップディスク」を作成します。
「バックアップディスク」は、ドライバのインストールに使用します。

バックアップの内容

ソフトウェア名称	フロッピーディスクの枚数	備考
WindowsNT 4.0 ドライバ	1	
Intel LAN ドライバ	1	LAN モデルとコンボモデルで作成

次のものを用意してください。
- ドライバーズ CD
- 1.44MB フォーマット済み 2HD フロッピーディスク
（表を確認し、必要な枚数を用意してください）

バックアップ方法

1 「ドライバーズ CD」をセットします。

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスが表示されます。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROM ドライブ]:¥fdbackup
「Fdbackup」ダイアログボックスが表示されます。

4 用意したフロッピーディスクをセットします。

5 バックアップしないソフトウェアのチェックを外してから、「バックアップ開始」をクリックします。

6 「続行」をクリックします。
このあとは、メッセージに従って操作してください。

3　プレインストール仕様

WindowsNTセットアップが終了した時点での本パソコンの環境は、次のとおりです。使用環境に合わせてシステム構成を変更してください。

ソフトウェア一覧

POINT

- ソフトウェアのインストール方法については、「ソフトウェアのインストール」（→ P.52）をご覧ください。

プレインストールソフト

名称	備考
Windows NT Workstation 4.0 （Service Pack6a）	「C:¥Winnt」ディレクトリにインストールされています。操作方法など詳細については、「スタート」メニューに登録されているオンラインヘルプ、および添付の『Windows NT Workstation ファーストステップガイド』をご覧ください。
電源切断用 HAL	WindowsNT シャットダウン時に自動的にパソコン本体の電源を切るためのコンポーネントです。
Internet Explorer 5.01	WWW ブラウザです。
MS-IME97	日本語変換ユーティリティです。
Intel SpeedStep （FMV-6750NA7/B、FMV-6650NU7/L、FMV-6600NU7/L、FMV-6600MF7/X）	電源の状態（AC アダプタまたはバッテリ）によってCPU クロックの周波数を落とすとともにCPU動作電圧を落とすことで、消費電力を低下させます。
Windows 環境調査ツール （FM Advisor）	ご使用のパソコンの動作環境を調査し、アドバイスするべき情報がないかチェックします。また、パソコンの動作環境情報の取得ツールとしてもお使いいただけます。これらの情報を利用して問題の解決に役立てることができます（→ P.69）。
Acrobat Reader	PDF（Portable Document Format）書類を表示、閲覧、印刷できます。
FMV 診断	本パソコンの問題点を診断し、具体的にどこに連絡すればよいかなどをアドバイスします。診断所要時間は、ハードディスクの使用量によって異なりますが、約 5 ～ 30 分です（→ P.69）。

カスタムメイドオプションのアプリケーションについては添付の『アプリケーション補足説明書』や各アプリケーションマニュアルをご覧ください。

添付ソフト（未インストール）

POINT

- 一部のソフトウェアの使用方法についてはヘルプまたはReadme.txtなどの説明ファイルをご覧ください。

名前	備考
MS-IME98	日本語変換ユーティリティです。
Internet Explorer 5.0	WWW ブラウザです。
Portables Suite	WindowsNT の機能を補足する PowerPanel、NoteDock、Card Executive の 3 つのユーティリティの総称です（→ P.28）。
TouchPad（〔NA〕） GlidePoint（〔NU〕〔MF〕）	ポインティングデバイスの機能を拡張するユーティリティです。
ワンタッチボタン設定（〔MF〕）	ワンタッチボタンを押してアプリケーションを起動したり、メールをチェックしたりするアプリケーションです。
VirusScan	コンピュータウイルスを検出・駆除します（→ P.20）。
FMKEEPER	パソコンのメモリ、ハードディスクや増設オプションなどの資産の情報を表示したり、パソコンを監視し発生した異常の詳細情報を参照したりできます。
FM-Menu	アイテムをクリックするだけで、簡単にプログラムを起動できます。また、特定のキー入力を抑止したり、Windows 機能を制限したりできます。これらの機能は、使用するユーザーごとに設定でき、本パソコンを使用するユーザーに応じて変更できます。ご使用前に必ず「Q&A 集」（Fm-menu.htm）および「ソフトウェア説明書」（Readme.txt）をご覧ください。
はじめよう！インターネット（@nifty）	インターネットのプロバイダである @nifty に入会できます。
NIFTY MANAGER	パソコン通信ソフトです。使用方法については、NIFTY MANAGER のヘルプをご覧ください。

デバイス一覧

デバイス	名称	備考
CD-ROM※1	IDE CD-ROM（ATAPI 1.2）	
キーボード	PC/AT 106 日本語（A01）キーボード	
サウンド	〔NA〕 ESS AudioDrive M2/M2E のオーディオ 〔NU〕 YAMAHA DS-XG Audio Driver のオーディオ 〔MF〕 AC'97 Audio Ctrlr: SigmaTel Codec Driver のオーディオ	
ディスプレイアダプタ	〔NA〕〔NU〕 ATI RAGE MOBILITY-P AGP (Japanese) 〔MF〕 Trident Cyber9525DVD PCI/AGP	解像度：1024 × 768 または 800 × 600※2 色数：65536 色 リフレッシュレート：60Hz
ネットワークアダプタ※3	Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)	プロトコル：NetBEUI 識別：WORKGROUP
フロッピーディスク	3 モード	1.44MB/1.23MB/1.2MB/720KB/640KB　の各容量のフロッピーディスクを読み書きできます。なお、スーパーディスクドライブ装着時は、1.44MB/720KB のフロッピーディスクのみ読み書きできます。
モデム※4	モデムモデル Fujitsu LB RWModem V.90 56K J コンボモデル Fujitsu LB Global LTMODEM	V.90/K56flex 対応のモデムです。

※1：内蔵 CD-ROM ドライブユニットまたは内蔵 CD-R/RW ドライブユニットを取り付けた場合
※2：解像度は機種によって違います
※3：LAN モデルとコンボモデル
※4：モデムモデルとコンボモデル

ドライブ構成

ドライブ	容量	備考
C	約 2GB	FAT（FAT16）
D	〔総容量〕－〔C ドライブの容量〕	NTFS
E	CD-ROM ドライブ	CD-ROM 接続時

FAT を NTFS に変換する方法については、「ファイルシステムの変換」(→ P.83)をご覧ください。

POINT

- NTFS に変換した場合、WindowsNT 4.0、Windows2000 以外のオペレーティングシステムからは、そのパーティションのファイルにアクセスできなくなります。
- 各ファイルシステムにアクセスできる OS は、次の表のとおりです。

	WindowsNT 4.0		Windows2000	Windows98	Windows95 OSR2 以降
	Service Pack4 以降	Service Pack3 以前			
WindowsNT の NTFS	○	○	○	×	×
Windows2000 の NTFS	○	×	○	×	×
FAT32	×	×	○	○	○
FAT16	○	○	○	○	○

- 4GB 以上に割り当てられた NTFS のパーティションに対しては、NTFS の圧縮機能は利用できません。利用するには、ディスクアドミニストレータなどを使用して 4GB 未満のパーティションを作成する必要があります。
- ハードディスクは、Ultra DMA/33 に設定されています。

第 2 章

快適にお使いいただくために

コンピュータウイルスや、画面の設定方法などについて説明しています。

1 コンピュータウイルス対策 20
2 画面を設定する 23
3 ネットワークを設定する 27
4 Portables Suite 28
5 Intel® SpeedStepTM テクノロジ 45

1　コンピュータウイルス対策

コンピュータウイルスはプログラムの 1 つで、なんらかの方法でコンピュータ内に読み込まれる（感染する）と、コンピュータウイルス自身で増殖し、大切なデータを壊したり、コンピュータを起動できなくしたりといった悪影響を及ぼします。

VirusScan

本パソコンにはウイルスを発見するためのソフトとして、VirusScan が添付されています。入手したフロッピーディスクや光磁気ディスクなどは、ウイルスチェックを行ったうえで使用してください。VirusScan の使用方法については、ヘルプをご覧ください。
VirusScan はご購入時にはインストールされていません。必要に応じてインストールしてください（→ P.60）。

POINT

- 「VShield」を起動していると、アプリケーションを正常にインストールできなかったり、ご使用のアプリケーションによっては不具合が発生したりすることがあります。この場合は次のいずれかの方法で「VShield」を使用不可にしてください。
  - 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Network Associates VirusScan NT」→「VirusScan コンソール」の順にクリックします。「VirusScan コンソール」ウィンドウで「VirusScan オンアクセスモニタ」をクリックし、「スキャン」メニュー→「使用不可」の順にクリックします。
  - 「VShield」アイコン（ ）がタスクバーに表示されている場合は、そのアイコンを右クリックし、「使用不可」をクリックします。
- VirusScan でコンピュータウイルス検査を行っているときは、ハードディスクにあるプログラムを実行したり、検査中のフロッピーディスクを取り出したりしないでください。
- 本パソコンをフロッピーディスクから起動する場合、そのフロッピーディスクがコンピュータウイルスに感染していないかをチェックしてから使用してください。
- VirusScan は、コンピュータウイルスの情報を記載したデータファイル（DAT ファイル）と、検査プログラム（スキャンエンジン）を使用しています。DAT ファイルは以下のサイトから無料でダウンロードできます。定期的に更新してください。
  http://www.nai.com/japan/
  スキャンエンジンを更新する場合は、最新版の VirusScan をご購入ください。

コンピュータウイルスを発見した場合

コンピュータウイルスを発見した場合は、被害届けを提出してください。

重 要

- **コンピュータウイルスに感染してしまい、本パソコンの修理が必要になった場合、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。ご了承ください。**

コンピュータウイルスの被害届け

コンピュータウイルスの届け出制度は、通商産業省の「コンピュータウイルス対策基準」（平成 2 年 4 月 10 日付通商産業省告示第 139 号／平成 9 年 9 月 24 日改訂通商産業省告示第 535 号）の規定に基づき、平成 2 年 4 月にスタートした制度です。コンピュータウイルスを発見した場合、コンピュータウイルス被害の拡大と再発を防ぐために必要な情報を、情報処理振興事業協会（IPA）に届け出ることとされています。届け出の書式は次ページのとおりです。

〒113-6591
東京都文京区本駒込2-28-8
情報処理振興事業協会
セキュリティセンター
ウイルス対策室　宛
TEL　03-5978-7509
FAX　03-5978-7518
E-mail　virus@ipa.go.jp

（届出書）
住所
会社・団体名
部署
氏名
TEL
FAX
E-mail

コンピュータウイルスの被害（感染・発病）について、下記のとおり届け出ます。

記

1. 発見場所（部署名または個人名）
2. ウイルス名称（内容）　（名称がわからない場合は症状を記載）
3. 発見年月日
　年　月　日
4. 感染機種
　機種　：富士通FMVシリーズ（IBM互換機）
　OS：　☐ Windows95　☐ Windows98　☐ WindowsNT　☐ Windows2000
　ネットワーク
　（チェックマークをつけてください。LAN接続以外は、スタンドアロンです）
　：☐スタンドアロン（単体）　☐LAN接続
5. 発見方法
　ワクチンなどによる定期検査を行っている　⇒頻度（毎日・毎週　回／　毎）
　発見方法（　）
　発見に利用したソフトウェア
　（☐ VirusScan for Windows95/98/NT/2000（日本ネットワークアソシエイツ株式会社））
　（☐上記以外　⇒名称：　社名：　）
6. 推定される感染経路
　感染元
　☐他人から譲渡（国内）　☐電子メール（国内）
　☐他人から譲渡（国外）　☐電子メール（国外）
　☐雑誌などの付録　☐不明
　☐パソコン通信（BBS）　☐その他（　）
　☐インターネット（ftp site, web site, NetNews）
　媒体
　☐フロッピーディスク　☐電子メール添付ファイル
　☐CD-ROM　☐その他（　）
　☐ダウンロードファイル
7. 被害状況
　PC　台
　HD　台
　FD　枚
　その他
8. 回復処置
　回復方法（　）
　回復に利用したソフトウェア
　（☐ VirusScan for Windows95/98/NT/2000（日本ネットワークアソシエイツ株式会社））
　（☐上記以外　⇒名称：　社名：　）
　投入人日
　（　人・　日（0.5日単位で記述））

※ この届出はコンピュータウイルス対策基準（平成9年9月24日付通商産業省告示第535号）の規定に基づいています。届け出られた内容は被害の拡大及び再発の防止に活用しますが、記載されているプライバシーに関する情報を公表することはありません。

2 画面を設定する

ここでは、ディスプレイの解像度と色数を変更する方法と各機能について説明します。

解像度と色数

本パソコンでは、「画面のプロパティ」ダイアログの「ディスプレイの詳細」タブもしくは「設定」タブで次の解像度、色数が選択できます。
また、CRT ディスプレイなどの外部ディスプレイの接続方法は『ハードウェアガイド』をご覧ください。

FMV-6750NA7/B

解像度（ドット）	色数		
	液晶ディスプレイ	液晶ディスプレイ + 外部ディスプレイ	外部ディスプレイ
640 × 480 800 × 600 1024 × 768	256 色 65536 色 16777216 色 True Color		256 色 65536 色 16777216 色 True Color
1280 × 1024 1400 × 1050	256 色※1 65536 色※1 16777216 色※1 True Color※1		
1600 × 1200	256 色※1 65536 色※1 16777216 色※1		

※1：仮想スクリーンモードになります。仮想スクリーンモードでは、液晶ディスプレイサイズの範囲のみが表示され、他の領域はマウスポインタを動かすことによって表示できます。

FMV-6650NU7/L、FMV-6600NU7/L、FMV-650NU7C/L

解像度（ドット）	色数		
	液晶ディスプレイ	液晶ディスプレイ＋外部ディスプレイ	外部ディスプレイ※1
640 × 480 800 × 600 1024 × 768	256 色 65536 色 16777216 色 True Color		
1280 × 1024	256 色※2 65536 色※2 16777216 色※2		256 色 65536 色 16777216 色
1600 × 1200	256 色※2 65536 色※2		256 色 65536 色

※1：プラグアンドプレイ対応の外部ディスプレイを使用の場合、最大解像度は外部ディスプレイからの情報により設定されます。

※2：仮想スクリーンモードになります。仮想スクリーンモードでは、液晶ディスプレイサイズの範囲のみが表示され、他の領域はマウスポインタを動かすことによって表示できます。

FMV-650NU7C/W

解像度（ドット）	色数		
	液晶ディスプレイ	液晶ディスプレイ＋外部ディスプレイ	外部ディスプレイ※1
640 × 480 800 × 600	256 色 65536 色 16777216 色 True Color		
1024 × 768	256 色※2 65536 色※2 16777216 色※2 True Color※2		256 色 65536 色 16777216 色 True Color
1280 × 1024	256 色※2 65536 色※2 16777216 色※2		256 色 65536 色 16777216 色
1600 × 1200	256 色※2 65536 色※2		256 色 65536 色

※1：プラグアンドプレイ対応の外部ディスプレイを使用の場合、最大解像度は外部ディスプレイからの情報により設定されます。

※2：仮想スクリーンモードになります。仮想スクリーンモードでは、液晶ディスプレイサイズの範囲のみが表示され、他の領域はマウスポインタを動かすことによって表示できます。

FMV-645MF7C/W、FMV-6600MF7/X

解像度（ドット）	色数		
	液晶ディスプレイ	液晶ディスプレイ＋外部ディスプレイ	外部ディスプレイ※3
640 × 480 800 × 600	256 色 65536 色 True Color		
1024 × 768	256 色※1 65536 色※1		256 色 65536 色
1280 × 1024	256 色※1※2		256 色

※1：FMV-645MC7C/W は仮想スクリーンモードになります。仮想スクリーンモードでは、液晶ディスプレイサイズの範囲のみが表示され、他の領域はマウスポインタを動かすことによって表示できます。

※2：仮想スクリーンモードになります。仮想スクリーンモードでは、液晶ディスプレイサイズの範囲のみが表示され、他の領域はマウスポインタを動かすことによって表示できます。

※3：プラグアンドプレイ対応の外部ディスプレイを使用の場合、最大解像度は外部ディスプレイからの情報により設定されます。

留意事項

- 「テスト」をクリックしないでディスプレイの解像度や色数を変更し、画面が表示されなくなった場合は、WindowsNT を VGA モードで起動し、再度ディスプレイの解像度や色数を変更してください。
- 外部ディスプレイ接続時、リフレッシュレートを変更すると表示位置がずれることがあります。この場合、外部ディスプレイ側で表示位置の調整を行ってください（→『外部ディスプレイの取扱説明書』）。
- 〔NA〕〔NU〕で以下の解像度を選択した場合は、WindowsNT の画面が通常表示または全画面表示に変更できます（→ P.78）。【Fn】+【F5】キーで変更することもできます。
  〔NA〕〔NU（FMV-650NU7C/W）以外〕：800 × 600 ドット以下
  FMV-650NU7C/W：640 × 480 ドット以下
- 〔MF〕で以下の解像度を選択した場合は、WindowsNT の画面が液晶ディスプレイ中央部に小さく表示されます。【Fn】+【F5】キーで全画面表示にすることができます。
  FMV-6600MF7/X：800 × 600 ドット以下
  FMV-645MF7C/W：640 × 480 ドット
- 〔MF〕で色数を True Color に設定した場合、次の操作による液晶ディスプレイの全画面表示はできません。
  - 【Fn】+【F5】キーを押す
  - 「画面のプロパティ」ダイアログボックスの「設定」タブで「詳細」をクリックし、「フラットパネル」タブの「ディスプレイストレッチ」をチェックする
- True Color および 16777216 色表示の液晶ディスプレイ画面は、ディザリング機能を使用して表示しています。
- True Color は 16777216 色です。
- WindowsNT が起動すると、表示されるディスプレイは、前回 WindowsNT で使用していた状態になります。ただし、外部ディスプレイが接続されていない場合は、液晶ディスプレイに表示されます。

表示装置を切り換える

表示装置の切り換え方法は次のとおりです。なお、表示装置をあらかじめ取り付けてから、切り換えを行ってください。

留意事項

- 〔NA〕〔NU〕の「ATI 画面」タブで表示装置を切り換える場合は、表示する表示装置の「●」を「プライマリ」に設定してください。
- 表示装置の切り換えの設定は次のようになります。
  - WindowsNT が起動していない場合は、BIOS セットアップの設定が有効
  - WindowsNT 起動中は「画面のプロパティ」ダイアログボックスの設定が有効（WindowsNT を再起動後も有効）
  - 【Fn】+【F10】キーで切り換えた表示装置の設定は、「画面のプロパティ」ダイアログボックスの設定に反映されます。
  - 「画面のプロパティ」ダイアログボックスを表示中に【Fn】+【F10】キーで表示装置を切り換えても、「画面のプロパティ」ダイアログボックスの表示には反映されません（一度ダイアログボックスを閉じ、再度表示させると反映されています）。
- 〔NA〕〔NU〕で外部ディスプレイとして CRT ディスプレイを接続した場合は、「画面のプロパティ」ダイアログボックスで 85Hz 以上のリフレッシュレートを設定できるように見えますが、実際にサポートできる CRT ディスプレイの周波数は以下のとおりです。
  - CRT ディスプレイのみの場合：
    1280 × 1024 ドット以下　60Hz ～ 85Hz
    1600 × 1200 ドット　60Hz
  - 同時表示の場合：60Hz
- 外部ディスプレイで液晶ディスプレイ以上の高解像度を利用するには、それらの解像度を表示可能な外部ディスプレイが必要です。
- 液晶プロジェクタを本パソコンの液晶ディスプレイと同時表示で使用する場合、本パソコンの液晶ディスプレイと同じ解像度を表示可能な液晶プロジェクタが必要です。
- 外部ディスプレイあるいは液晶プロジェクタによっては、液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示の場合に、外部ディスプレイあるいは液晶プロジェクタの画面が正しく表示されないことがあります。

【Fn】+【F10】キーを使用する場合

表示装置を切り換えるには、【Fn】キーを押しながら【F10】キーを押します。表示装置は次の順に切り換わります（このとき【F10】キーを、間隔をあけて押してください）。

液晶ディスプレイ → 外部ディスプレイ → 液晶ディスプレイ + 外部ディスプレイ（同時表示）→ 液晶ディスプレイ…

「画面のプロパティ」ダイアログボックスを使用する場合

1 デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

2 次の画面で表示装置を選択します。

〔NA〕〔NU〕「ATI 画面」タブ
〔MF〕　　「表示デバイス」タブ

3 「OK」をクリックします。

3　ネットワークを設定する

ここでは、ネットワークの設定方法について説明します。

LAN モデルとコンボモデルは、WindowsNT をセットアップしたあとに、お使いのネットワーク環境に合わせて設定を行ってください。以降の手順は、TCP/IP プロトコルを追加する方法です。

ネットワークの設定

モデムモデルとコンボモデルの場合は、「ドライバのインストール」(→ P.52) をご覧ください。

1 「ネットワークコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「ネットワーク」ダイアログボックスが表示されます。

2 「プロトコル」タブをクリックし、「追加」をクリックします。
「ネットワークプロトコルの選択」ダイアログボックスが表示されます。

3 「ネットワークプロトコル」の「TCP/IP プロトコル」をクリックし、「OK」をクリックします。
「TCP/IP セットアップ」ダイアログボックスが表示されます。

4 DHCP を使用する場合は「はい」を、使用しない場合は「いいえ」をクリックします。
「Windows NT セットアップ」ダイアログボックスが表示されます。

5 次のように入力し、「続行」をクリックします。

```
c:¥support¥i386
```

「ネットワーク」ダイアログボックスが表示されます。

6 「閉じる」をクリックします。
このあとは、メッセージに従って操作してください。

7 インストール終了後Windows NT Service Pack6aをインストールしてください(→ P.53)。

4 Portables Suite

本パソコンには、WindowsNT の機能を補足する Portables Suite（ポータブルスィート）が添付されています。

Portables Suite の特長

Portables Suite を利用することにより、WindowsNT ではサポートされていない省電力機能、PC カードおよびマルチベイユニットなどのホットスワップ／ウォームスワップ機能を使用できます。

Portables Suite は、次の 3 つのアプリケーションより構成されています。

- PowerPanel（パワーパネル）: 省電力機能のサポート
- Card Executive（カードエグゼクティブ）: PC カードのホットスワップのサポート、CardBus 対応の PC カードサポート
- NoteDock（ノートドック）:〔NA〕〔NU〕のマルチベイユニットのホットスワップのサポート、〔MF〕のモバイルマルチベイユニットのウォームスワップのサポート

POINT

- ホットスワップとは、パソコン本体の電源を入れた状態で周辺機器の取り付け／取り外しを行うことです。
- ウォームスワップとは、パソコン本体をサスペンドした状態で周辺機器の取り付け／取り外しを行うことです。
- Portables Suite と GlidePoint は併用できません。

Portables Suite のインストール

Portables Suite はご購入時の状態ではインストールされていません。必要に応じてインストールしてください。

POINT

- LAN ドライバやモデムドライバがインストールされている場合は、これらのドライバをアンインストールしてから Portables Suite をインストールしてください。
  - LAN ドライバのアンインストール（LAN モデルとコンボモデル）
    1 WindowsNTを起動し、管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
    2「ネットワークコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
    3「アダプタ」タブをクリックします。
    4「ネットワークアダプタ」から「Intel(r) PRO/100+ Management Adapter」または「Intel 8255X-based PCI Ethernet Adapter (10/100)」をクリックし、「削除」をクリックしてメッセージに従って操作します。

- モデムドライバのアンインストール（モデムモデル）
  1 WindowsNTを起動し、管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
  2「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
  3「Fujitsu LB RWModem V.90 56K J (Uninstall only)」をクリックし、「追加と削除」をクリックしてメッセージに従って操作します。
- モデムドライバのアンインストール（コンボモデル）
  1 WindowsNTを起動し、管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
  2「ドライバーズ CD」をセットします。
  3「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
  4「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
  [CD-ROMドライブ]:¥nt40¥ltmodem¥setup.exe
  5「Next」をクリックします。
  6「Remove exisiting modem driver and components」をクリックし、「NEXT」をクリックします。
  7「Yes, I want to restart my computer now」をクリックし、「Finish」をクリックします。
  WindowsNT が再起動され、設定が有効になります。

▶ Portables Suite をインストールするには、Windows NT Service Pack6a 以降がインストールされている必要があります（ご購入時の状態ではインストールされています）。また Portables Suite インストール後は、再度 Windows NT Service Pack6a をインストールしてください。

▶ PowerPanel を使用する場合は、BIOS セットアップで次のように設定を変更する必要があります（→『ハードウェアガイド』参照）。
- 「省電力」メニュー内
  サスペンド動作：
  サスペンド（Save To Disk 機能を使用しない場合）
  Save To Disk（Save To Disk 機能を使用する場合）
  詳細設定
  SUS/RES スイッチ（サスペンド／レジュームスイッチ）：使用する
  「カバークローズサスペンド」と「カバーオープンレジューム」を「使用する」に設定することもできます。

1 WindowsNT に管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。

2 各アプリケーション単位にインストールを行います。

インストールは、必ず次の順番で「ドライバーズ CD」より行ってください。

	コンポーネント名		インストールプログラムの格納フォルダ
1	Card Executive		¥Update¥Psuite¥CardExec
2	NoteDock	〔NA〕	¥Update¥Psuite¥NoteDocB
		〔NU〕	¥Update¥Psuite¥NoteDocA
		〔MF〕	¥Update¥Psuite¥NoteDocC
3	PowerPanel		¥Update¥Psuite¥Pwrpanel

Card Executive のインストール

- エクスプローラでP.29の表のフォルダにあるSetup.exeをダブルクリックして、インストールプログラムを起動します。インストール中の操作は、画面の指示に従ってください。
- インストールが完了すると WindowsNT を再起動する必要があります。表示されたダイアログボックスの「再起動する」をクリックしてください。
- 再起動後 WindowsNT へログオンすると、「Card Executive 2.0 for NT Diagnostics」ダイアログボックスが表示されます。画面の指示に従って「PC カード診断」を実行してください。終了後、PC カードがセットされていたら取り出し、表示されたダイアログボックスの「完了」をクリックすると WindowsNT が再起動します。

NoteDock のインストール

- エクスプローラでP.29の表のフォルダにあるSetup.exeをダブルクリックして、インストールプログラムを起動します。インストール中の操作は、画面の指示に従ってください。
- インストールが完了すると WindowsNT を再起動する必要があります。表示されたダイアログボックスの「再起動する」をクリックしてください。

PowerPanel のインストール

エクスプローラで P.29 の表のフォルダにある Setup.exe をダブルクリックして、インストールプログラムを起動します。インストール中の操作は、画面の指示に従ってください。
なお、Save To Disk 機能を使用する場合は、Save To Disk 領域を作成してください。

すべてのアプリケーションのインストールが終了したら、次の操作を行います。

1. モデムモデルとコンボモデルはモデムドライバをインストールします（→ P.52）。
2. Windows NT Service Pack6a をインストールします（→ P.53）。

Portables Suite のアンインストール

以下の手順で行います。

PowerPanel のアンインストール

1. PowerPanel を終了します。
2. 「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
   「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
3. 「インストールと削除」タブから「Phoenix PowerPanel」をクリックし、「追加と削除」をクリックします。
   「ファイル削除の確認」ダイアログボックスが表示されます。

4 「はい」をクリックします。
「コンピュータからプログラムを削除」ダイアログボックスが表示され、アンインストールが始まります。

5 アンインストールが完了したら、「OK」をクリックします。

6 「アプリケーションの追加と削除プロパティ」ダイアログボックスで「OK」をクリックします。

7 「コントロールパネル」ウィンドウの「サービス」アイコンをダブルクリックします。

8 「サービス」の一覧から「Phoenix PM」をクリックし、「スタートアップ」をクリックします。

9 「サービス」ダイアログボックスの「スタートアップの種類」の「無効」をクリックし、「OK」をクリックします。

10 「閉じる」をクリックします。

11 「コントロールパネル」ウィンドウの「デバイス」アイコンをダブルクリックします。

12 「デバイス」の一覧から「PhoenixAD」をクリックし、「スタートアップ」をクリックします。

13 「スタートアップの種類」から「無効」をクリックし、「OK」をクリックします。
「デバイス」の警告メッセージが表示されます。

14 「はい」をクリックします。

15 「閉じる」をクリックします。

16 WindowsNT を再起動します。

Card Executive のアンインストール

1 LAN モデルとコンボモデルは、LAN ドライバをアンインストールします（→ P.28）。

2 PC カードがセットされている場合は、取り出します。

3 「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

4 「インストールと削除」タブから「Card Executive 2.0 for NT」をクリックし、「追加と削除」をクリックします。
「Card Executive 2.0 for NT のアンインストール」ダイアログボックスが表示されます。

5 アイコン付きのボタンをクリックします。

6 完了メッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。

7 「再起動する」ダイアログボックスで「再起動する」をクリックします。

POINT

- いくつかのドライバを削除するように求めるダイアログボックスが表示されたら、そのドライバをアンインストールして WindowsNT を再起動後、再度 Card Executive をアンインストールしてください。
- LAN ドライバのアンインストール（→ P.28）。
- LAN 以外のドライバのアンインストール。

8 「コントロールパネル」ウィンドウの「SCSI アダプタ」アイコンをダブルクリックします。

9 「ドライバ」タブをクリックし、該当するドライバを選択します。

10 「削除」をクリックし、ドライバを削除します。

NoteDock のアンインストール

1 LAN モデルとコンボモデルは、LAN ドライバをアンインストールします（→ P.28）。

2 「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

3 「インストールと削除」タブから「NoteDock 2.0 for NT」をクリックし、「追加と削除」をクリックします。

4 「NoteDock 2.0 for NT のアンインストール」ダイアログボックスが表示されたら、アイコン付きのボタンをクリックします。

5 完了メッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。

6 「再起動する」ダイアログボックスで「再起動する」をクリックします。

POINT

- いくつかのドライバを削除するように求めるダイアログボックスが表示されたら、そのドライバをアンインストールして WindowsNT を再起動後、再度 NoteDock をアンインストールしてください。

ドライバと Windows NT Service Pack6a のインストール

1. モデムモデルとコンボモデルはモデムドライバをインストールします（→ P.52）。
2. LAN モデルとコンボモデルは LAN ドライバをインストールします（→ P.53）。
3. Windows NT Service Pack6a をインストールします（→ P.53）。

PowerPanel の操作方法

PowerPanel を利用することにより、WindowsNT で省電力機能を使用できます。これにより、ディスプレイやハードディスクの省電力機能の設定やサスペンド／レジューム機能（→ P.37）などを利用でき、本パソコンの消費電力を抑えることができます。

PowerPanel の起動

PowerPanel をインストール後は、再ログオンするか、「スタート」ボタン→「プログラム」→「Phoenix PowerPanel」→「PowerPanel」の順にクリックすると、画面左側に PowerPanel ツールバーが表示されます。
このツールバーには、本パソコンのパワーマネージメントの設定を行うボタンと、本パソコンを省電力モードへ移行させるボタンの 2 種類のボタンがあります。

PowerPanel の終了

PowerPanel を終了するには、タスクバーの PowerPanel アイコンを右クリックし、表示されたメニューから「閉じる」をクリックします。この際、PowerPanel は終了しますが、終了時点のパワーマネージメントの設定は継続されています。

POINT

- 〔NA〕で「デジタル携帯電話接続カード」（FMV-J922）または「PHS 接続カード」（FMV-J931）を使用する場合は、PowerPanel を終了してから通信を開始してください。

プロファイル

PowerPanel ツールバーに登録されているボタンをプロファイルと呼びます。このプロファイルをクリックすることにより、パワーマネージメントの設定を簡単に切り換えることができます。
プロファイルは、変更および新規に作成できます。複数の設定を組み合わせて利用することにより、消費電力を抑えることができます。

■ 設定プロファイル

設定プロファイルを表示させるには、プロファイルを右クリックし、「開く」をクリックします。以下の項目を設定できます。

● システム

- アイドル
  指定時間までキー入力やデータの入出力がなかった場合、自動的に CPU のクロック周波数を下げます。
- スタンバイ
  指定時間までキー入力やデータの入出力がなかった場合、自動的に液晶ディスプレイの表示を消し、ハードディスクのモーターを止めます。オフに設定すると、この機能は無効になります。この設定は、ビデオスタンバイおよびハードディスクスタンバイよりも優先されます。
- サスペンド
  指定時間までキー入力やデータの入出力がなかった場合、自動的にサスペンド状態または Save To Disk 状態に移行します。この際、BIOS セットアップの設定により、サスペンド状態または Save To Disk 状態への移行のどちらかを選択できます。
- モデム着信レジューム
  サスペンド中に電話回線からモデムに着信したときに、本パソコンをレジュームさせることができます。
- 時刻レジューム
  指定した時間に本パソコンを自動的にレジュームさせることができます。指定方法は、時間（24 時間制）: 分 : 秒の「:」を含む 8 文字を入力してください。時刻レジュームを停止する場合は、「00:00:00」を入力してください。
  例：午前 3 時 10 分にレジュームさせる場合、「03:10:00」と入力します。

POINT

- **モデム着信レジューム、時刻レジュームが設定されている場合、Save To Disk 状態には移行しません。**
- **WindowsNT は、ファイル操作時以外にもハードディスクに対してアクセスする可能性があります。このため、省電力モードに移行する時間が、スタンバイやサスペンドで指定した時間より多少遅くなることがあります。**

- ビデオスタンバイ
  指定した時間までにキー入力やデータの入出力がなかった場合、液晶ディスプレイの表示を消します。
- ハードディスクスタンバイ
  指定した時間までにハードディスクへのアクセスがなかった場合、自動的にハードディスクのモーターを止めます。
- 内蔵モデムパワー
  モデムへの電源供給を止めます。

■ **省電力モードへ移行するプロファイル**

本パソコンを省電力モードへ移行させるための、次のプロファイルが用意されています。このプロファイルの設定を変更することはできません。

- システムスタンバイ（ ）
  このプロファイルをクリックすると、液晶ディスプレイの表示を消し、ハードディスクのモーターを止めます。復旧するには、キーボードかポインティングデバイスを操作します。
- システムサスペンド（ ）
  このプロファイルをクリックするとBIOSの設定に関係なくサスペンド状態になります。
- システム Save to Disk（ ）
  このプロファイルをクリックすると、本パソコンの BIOS の設定に関係なくハードディスクの Save To Disk 領域にメモリの内容を待避します。ただし、Save To Disk 領域が設定されていない場合は、サスペンド状態になります。
- ビデオスタンバイ（ ）
  このプロファイルをクリックすると、液晶ディスプレイの表示を消します。
- ハードディスクスタンバイ（ ）
  このプロファイルをクリックすると、ハードディスクのモーターを止めます。

重 要

- ハードディスクへアクセス中は、これらのプロファイルを実行しないでください。

POINT

- 利用方法の詳細は、PowerPanel のオンラインヘルプをご覧ください。

Save To Disk 機能

Save To Disk（セーブ・トゥ・ディスク）機能とは、メモリの内容をハードディスクの Save To Disk 領域に待避させることにより、次回電源投入時およびレジューム時に、サスペンド以前の作業を再開することができる機能です。

Save To Disk 領域とは

Save To Disk 領域は、ご購入時には作成されていません。Save To Disk 領域は、次の 2 つの形式のどちらかで作成します。

● **ファイル形式**

Save To Disk 領域をファイルの一部として作成します。ハードディスクの C ドライブが FAT でフォーマットされており、搭載メモリ容量に応じた空き領域（下記の表を参照）があれば作成できます。

● 区画形式

内蔵ハードディスクに Save To Disk 領域を専用区画として作成します。PHDISK ユーティリティを起動する前に、ディスクアドミニストレータなどを利用して空き領域を確認してください（下記の表を参照）。
必要量の空き領域が確保できない場合は、登録されている区画を削除し、必要な空き領域を作成してください。
区画の変更を伴う場合は、データのバックアップおよび領域作成後に環境を復元する（WindowsNT ／ドライバ／アプリケーションソフトの再インストールなど）必要があります。

Save To Disk 領域の最適な容量

Save To Disk 領域の最適な容量は、搭載されているメモリ容量によって変更されます。
各メモリ容量に必要な未使用領域の容量は次のとおりです。

本体メモリ（MB）	32	64	128	192	256
未使用領域（MB）（Save To Disk 領域に必要な領域）	40	74	133	202	265

重 要

- メモリを増設した場合は、Save To Disk 領域を作成しなおす必要があります。
- 区画形式を選択している場合、メモリを増設して Save To Disk 領域を作成しなおすと、区画情報が変更され、内蔵ハードディスクに設定した全ドライブの内容が削除されます。事前に大切なデータはバックアップしておいてください。
  メモリを増設する可能性がある場合は、増設後のメモリに最適な未使用領域をあらかじめハードディスクに確保しておくことをお勧めします。十分な未使用領域が確保されている場合、区画情報は変更されません。未使用領域の確保は、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」内の FDISK ユーティリティを使用してください。

Save To Disk 領域の作成

Save To Disk 領域は次の手順で作成します。

1 「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を書き込み可能な状態にしてセットします。

2 本パソコンの電源を入れます。

「続けるにはどれかキーを押してください ...」と表示されます。

POINT

- すでに「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」から起動したことがある場合は、上記メッセージは表示されません。手順 4 に進んでください

3 何かキーを押します。

本パソコンが再起動され、「Windows NT4.0 リカバリメニュー」が表示されます。

4 【3】キーを押します。

MS-DOS が起動され、「A:¥>」と表示されます。

5 「ドライバーズ CD」をセットします。

6 次のように入力して、それぞれ【Enter】キーを押します。

- ファイル形式で作成する場合

```
q:
cd ¥fjuty
phdisk /c /f
```

- 区画形式で作成する場合

```
q:
cd ¥fjuty
phdisk /c /p
```

現在のシステム構成に最適な Save To Disk 領域が作成されます。

POINT

- PHDISK ユーティリティの詳細は、「PHDISK ユーティリティについて」（→ P.84）をご覧ください。

7 フロッピーディスクを取り出し、何かキーを押します。

本パソコンが再起動されます。区画形式で作成した場合は、必要に応じてリカバリを行ってください。

サスペンド／レジューム機能

サスペンド／レジューム機能とは

サスペンド／レジューム機能とは、SUS/RES スイッチ（→『ハードウェアガイド』参照）などで本パソコンを一時停止（サスペンド）したときに、メモリ内のプログラムやデータをそのままの状態で保持し、次に SUS/RES スイッチを押したときに、すぐに作業を再開（レジューム）できる機能です。

サスペンド／レジューム機能は、添付の Portables Suite（→ P.28）をインストールしている場合に使用できます。

POINT

- サスペンド時のパソコン内部の情報の保存先は、BIOS セットアップの「サスペンド動作」の設定（→『ハードウェアガイド』参照）により、以下の 2 とおりがあります。
  - メモリ（システム RAM）
    「サスペンド動作」を「サスペンド」に設定したときは、システム RAM で保持されます。電源は、AC アダプタを接続している場合は AC 電源から、AC アダプタを接続していない場合はバッテリから供給されます。
  - ハードディスク（Save To Disk 領域）
    「サスペンド動作」を「Save To Disk」に設定したときは、ハードディスクの Save To Disk 領域に書き込まれて保存されます。また、この場合はパソコン本体の電源が自動的に切れます（→ P.35）。
- ご購入時は「サスペンド」に設定されています。

留意事項

- サスペンド／レジューム機能を使用する場合は、添付のPowerPanelをインストールしてください（→ P.30）。
- Portables Suite をインストールしていない状態では、次の点に気をつけてください。
  - 本パソコンをサスペンドしないでください。内蔵ディスクの内容が壊れる場合があります。
  - BIOS 設定の SUS/RES スイッチやカバークローズスイッチの部分の設定は必ず「使用しない」に設定してください。
- SUS/RES スイッチやカバークローズスイッチを使って、サスペンド／レジュームしたい場合は、Portables Suite をインストールし、かつ BIOS 設定の SUS/RES スイッチやカバークローズスイッチの設定を行ってください。
- PowerPanel の設定は、以下の BIOS 設定よりも優先されます。
  - 「省電力モード」
  - 「モデム着信によるレジューム」
  - 「時刻によるレジューム」
- 次の場合は、サスペンド／レジューム機能を使用しないでください。
  - WindowsNT の終了処理中
  - フロッピーディスクまたはスーパーディスクにアクセス中
  - モデムで通信中
  - LAN でネットワークに接続中
  - オートラン CD-ROM（セットすると自動で始まる CD-ROM）を使用中
  - ビデオ CD、MPEG1、MPEG2、および DVD を再生中
  - 音楽 CD やゲームソフトなどのサウンドを再生中
  - CD-R や CD-RW に書き込みまたは書き換え中
- パソコンが何か処理をしている最中（プリンタ出力中など）、および処理完了直後は、サスペンド・Save To Disk に移行させないでください。
- サスペンド後、すぐにレジュームしないでください。必ず、10 秒以上たってからレジュームするようにしてください。
- サスペンドする場合は、次の点に気をつけてください。
  - レジューム時は、SUS/RES スイッチを 4 秒以上押さないでください。SUS/RES スイッチを 4 秒以上押すと、本パソコンの電源が切れ、作業中のデータが消失します。
  - レジューム時に、画面に一瞬ノイズが発生する場合があります。
  - サスペンド中は MAIN スイッチを OFF にしないでください。作業中のデータがすべて失われてしまいます。
  - サスペンド中にバッテリが切れると、作業中のデータがすべて失われてしまいます。バッテリ運用の場合は、バッテリ残量に留意してください。
  - ネットワーク環境によっては、サスペンド／レジューム機能を使用できない場合があります。

POINT

- オートラン CD-ROM を使用しているときにサスペンドすると、レジューム時に CD-ROM が二重に起動し、誤動作の原因になります。二重に起動した場合は、CD-ROM のアプリケーションをすべて終了し、CD-ROM をセットし直してください。
- ドライバのインストールが必要な周辺機器を接続しているときは、ドライバのインストールが終了するまでサスペンド／レジューム機能を使用しないでください。

- 以下の場合は、サスペンド機能を使用せず、パソコン本体の電源を切ってください。
  - 長時間お使いにならないとき
    バッテリでのサスペンド状態（→『ハードウェアガイド』参照）の有効期間（最大約 3 日）を超えてお使いにならない場合は、データを保存してから WindowsNT を終了させ、パソコン本体の電源を切るか、サスペンド動作として、Save To Disk をお使いください（Save To Disk の場合はパソコン本体の電源が自動的に切れます）。
  - 周辺機器を取り付け／取り外しをするとき
    ただし、Portables Suite をインストールしている場合は、周辺機器によってはパソコン本体の電源を切らなくても接続できるものがあります（→ P.28）。
- 以下の場合は、サスペンド／レジューム機能が使用できないことがあります。
  - WindowsNT の起動処理中
  - アプリケーションの処理中
  - 赤外線通信を使用中
  - PC カードやプリンタなどの周辺装置を接続している場合

POINT

- **PC カードやプリンタなどの周辺装置を接続した状態で Save To Disk 機能を使用すると、レジューム時に周辺装置の情報が初期化されるため、Save To Disk 前の状態に戻らないことがあります。**

- パソコン本体の内蔵 LAN デバイス、または別売の LAN カード（弊社の FMV-J182A、FMV-J184B、FMV-J185 など）をお使いになる場合は、AC アダプタを接続し、BIOS セットアップの「省電力モード」の設定（→『ハードウェアガイド』参照）を、「使用しない」にしてください。
- 以下の場合は、サスペンド時のデータ保存時間が短くなるため、AC アダプタで本パソコンを運用することをお勧めします。
  - BIOS セットアップの「省電力」メニューで、「モデム着信によるレジューム」の設定や「LAN によるレジューム」の設定（→『ハードウェアガイド』参照）が「使用する」の場合
- お使いになる PC カードによっては、サスペンド時のデータ保存時間が短くなる場合があります。

サスペンドする

本パソコンをサスペンドさせるには、SUS/RES スイッチやカバークローズスイッチを使用する方法があります。

POINT

- **以下の場合は、本パソコンはサスペンドしないことがあります。**
  - **WindowsNT の起動中**
  - **接続している周辺機器のドライバが正しくインストールされていないとき**
- **本パソコンの使用条件により、サスペンドに時間がかかる場合があります。**

■ SUS/RES スイッチを使用する

1 SUS/RES スイッチを押します。

状態表示 LCD（→『ハードウェアガイド』参照）の⛁や🖴などが消えていることを確認し、SUS/RES スイッチを押します。

状態表示 LCD の⏻が点滅し、本パソコンはサスペンド状態になります。

重 要

- SUS/RES スイッチは４秒以上押さないでください。SUS/RES スイッチを４秒以上押すと、本パソコンの電源が切れ、作成中のデータが失われることがあります。

POINT

- BIOS セットアップの「サスペンド／レジュームスイッチ」の設定（→『ハードウェアガイド』参照）が「使用しない」の場合は、SUS/RES スイッチを押しても本パソコンはサスペンドしません。
- 【Fn】キーを押しながら SUS/RES スイッチを押すと、BIOS セットアップの「サスペンド動作」の設定（→『ハードウェアガイド』参照）にかかわらず、Save To Disk 機能が働きます。ただし、この場合は、「モデム着信によるレジューム」や「LAN によるレジューム」の設定（→『ハードウェアガイド』参照）が無効となります。
- Save To Disk 機能でサスペンドしても Save To Disk 機能が働かないときは、Save To Disk 領域が削除されている可能性があります。Save To Disk 領域を作成し直してください。

■ カバークローズスイッチを使用する

1 液晶ディスプレイを閉じます。

状態表示 LCD（→『ハードウェアガイド』参照）の⛁や🖴などが消えていることを確認し、液晶ディスプレイを閉じます。

カバークローズスイッチ（→『ハードウェアガイド』参照）により、本パソコンはサスペンド状態になります。

POINT

- BIOS セットアップの「カバークローズサスペンド」の設定（→『ハードウェアガイド』参照）が「使用しない」の場合は、液晶ディスプレイを閉じても本パソコンはサスペンドしません。
  また、この場合は液晶ディスプレイを閉じないでください。

レジュームする

本パソコンをレジュームさせるには、SUS/RES スイッチやカバークローズスイッチを使用する方法があります。

POINT

- 本パソコンをサスペンドし、再度レジュームさせる場合は、10 秒ほど待ってから操作してください。
- 本パソコンの使用条件により、レジュームに時間がかかる場合があります。
- レジュームしないときは、MAIN スイッチが OFF になっていないか確認してください。

■ SUS/RES スイッチを使用する

1 SUS/RES スイッチを押します。

SUS/RES スイッチを押すと、状態表示 LCD の ⏎ が点滅から常時表示になり、本パソコンは動作状態になります。

POINT

- SUS/RES スイッチは 4 秒以上押し続けないでください。4 秒以上押すと、本パソコンの電源が切れます。

■ カバークローズスイッチを使用する

1 液晶ディスプレイを開きます。

カバークローズスイッチ（→『ハードウェアガイド』参照）により、本パソコンがレジュームします。

POINT

- BIOS セットアップの「カバーオープンレジューム」の設定（→『ハードウェアガイド』参照）が「使用しない」の場合は、液晶ディスプレイを開いても本パソコンはレジュームしません。

Card Executive の操作方法

Card Executive を利用することにより、PC カードのホットスワップや CardBus 対応の PC カードを WindowsNT 上で利用できるようになります。Card Executive が対応している PC カードの一覧は、「ドライバーズ CD」内の「¥Update¥Psuite¥Readme.txt」に記載されています。

Card Executive でホットスワップサポート対象外となっている PC カードはホットスワップできません。従来と同じ方法で利用してください。

POINT

- Card Exective をインストールすると、SCSI カード（FMV-J124）経由で接続した CD-ROM ドライブでビデオ CD を再生できなくなります。

PC カードのセット

■ Card Executive 対応カードの場合

初めて PC カードを使用する際は、ドライバをインストールする必要があります。

1 管理者権限を持ったユーザーアカウントで WindowsNT へログオンします。

2 PC カードをセットします。

「PCMCIA カードの構成が終了しました。」ダイアログボックスが表示されます。

3 「OK」をクリックします。

画面の指示に従って操作してください。

再起動後は、PC カードのセット／取り出しによるドライバのインストールは必要ありません。

■ Card Executive 非対応カードの場合

Card Executive に対応したドライバが用意されていない場合は、WindowsNT 単体の環境と同じように、PC カードのセット／取り出しはパソコン本体の電源を切ってから行ってください。

1 PC カードをセットし、パソコン本体の電源を入れます。

2 WindowsNT が起動後、管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。

PC カードが認識されると、「PCMCIA カードが機器構成できません」ダイアログボックスが表示されます。

3 「PC カードに付属のドライバをインストールする」を選択し、PC カードに添付のドライバディスクをセットして「OK」をクリックします。

ドライバがフロッピーディスク以外で提供されている場合は、「OK」をクリック後、表示されるダイアログボックスでドライバのパスを入力してください。インストールの詳細は、各 PC カードに添付されているマニュアルをご覧ください。
以降、画面の指示に従って操作してください。

POINT

- PC カードモデムの場合は、「コントロールパネル」ウィンドウの「モデム」アイコンをダブルクリックして、モデムドライバをインストールする必要があります。

PC カードの取り出し

Card Executive 対応の PC カードは次のような手順で取り出すことができます。

1 タスクバーの「Card Excecutive」アイコンを右クリックし、「××××を停止する」をクリックします。

2 「PCMCIA カードの削除が完了しました」と表示されたら、PC カードを取り出します。

ただし、パソコン本体の PC カードアクセス表示が表示中は取り出さないでください。表示中に取り出した場合は、データを保証できません。
Card Executive 非対応の PC カードの取り出しは、従来と同じ方法で行ってください（→『ハードウェアガイド』参照）。

■ 現在セットされているカードの確認方法

タスクバーにある「Card Executive」アイコンをダブルクリックするか、「コントロールパネル」ウィンドウの「Card Executive 2.0 for NT」アイコンをダブルクリックすることにより、現在セットされている PC カードの一覧を表示できます。

■ **ドライバの削除方法**
不要になったドライバは、他のドライバと同じようにコントロールパネルを利用して削除してください。

POINT

- モデムカードで利用する COM 番号の設定
  PC カードモデムで利用する COM 番号を設定する場合は、タスクバーの「Card Executive」アイコンをダブルクリックして、「設定」タブの「モデム機器構成」をクリックします。ここで、PC カードモデムが利用できる COM 番号を指定します。本パソコンで設定可能な COM 番号は、2 と 3 になります。ただし、他の機器がその COM 番号を利用している場合には、選択することができません。
- Card Executive の詳細は、オンラインヘルプをご覧ください。

NoteDock の操作方法

NoteDock を利用することにより、WindowsNT の動作中にマルチベイユニットを交換できます。

デバイスの取り外し

マルチベイユニットを取り外し、または交換する場合は、タスクバーにある「NoteDock」アイコンを右クリックし、「デバイスを取り出す。」または「ベイデバイスの除去／スワップ」をクリックします。これにより、現在接続されているマルチベイユニットの切り離し処理が行われます。マルチベイユニットを取り外し可能になるとダイアログボックスが表示されるので、マルチベイユニットを取り外してから「OK」をクリックしてください。

POINT

- 〔MF〕では、「OK」をクリックしたあと、本パソコンがサスペンドしてからマルチベイユニットを取り外してください。
  なお、次のデバイスを取り外すときは、上記の取り外し操作は必要ありません。
  - 内蔵 PC カードユニット（PC カードが挿入されていない場合）
  - 増設用内蔵バッテリユニット（内蔵バッテリの電池残量が十分にある場合、あるいは AC アダプタを接続し電源が供給されている場合）
  - モバイルマルチベイカバー

重 要

- マルチベイユニットを取り外したまま本パソコンを使用しないでください。

デバイスの追加

マルチベイユニットを追加する場合は、タスクバーの「NoteDock」アイコンを右クリックし、「ベイデバイスの挿入」または「デバイスを追加」をクリックしてください。マルチベイユニットを追加可能になるとダイアログボックスが表示されるので、マルチベイユニットを取り付けてから「OK」をクリックしてください。

新しいタイプのデバイスを初めて追加した際は、WindowsNT を再起動する必要があります。この場合は、画面の指示にしたがい、WindowsNT を再起動してください。

POINT

- 〔MF〕では、「OK」をクリックしたあと、本パソコンをサスペンドしたことを確認してからモバイルマルチベイユニットの交換を行ってください。

重 要

- ホットスワップ可能な状態で増設ハードディスクユニットを使用する場合、FAT領域は最大で 4GB になります。また、「ディスクアドミニストレータ」を起動すると、他の OS との互換がなくなります。WindowsNT 以外の OS で使用する予定のある増設ハードディスクユニットは使用しないでください。
- 増設ハードディスクユニットを NTFS で運用する場合は、「ドライバーズ CD」の「¥Nt40¥Suite¥Readme.txt」を参照して、WindowsNT 運用時にマルチベイユニットの交換ができないようにしてください。
- 取出し操作を行っていない場合に、本パソコンの SUS/RES 表示が点滅中（サスペンド中）はマルチベイユニットを交換しないでください。点滅中に操作した場合、データを保証することはできません。

5 Intel® SpeedStep™ テクノロジ

対応機種

以下の機種のみで対応しています。

- FMV-6750NA7/B
- FMV-6650NU7/L
- FMV-6600NU7/L
- FMV-6600MF7/X

Intel SpeedStep テクノロジの概要

本パソコンをバッテリで使っているときに、CPU クロックの周波数を落とすとともに、CPU 動作電圧を落とすことで節電するかどうかを設定します。

本パソコンを AC アダプタで使っているときと、バッテリで使っているときで別々に設定できます。

「バッテリに合わせたパフォーマンス」に設定した場合、消費電力が低くなるので、バッテリ稼動時間が長くなります。

留意事項

- タスクバーの をクリックしても設定画面が表示されます。
- Direct3D を使用するアプリケーションを起動中は以下の操作を行わないでください。
  - AC アダプタを抜き差しする
  - 「Intel SpeedStep テクノロジ」ダイアログボックスまたはタブの設定を変更する
- BIOS セットアップの「Intel(R) SpeedStep(TM) テクノロジ」（→『ハードウェアガイド』参照）の項目でも設定を変更できます。Intel SpeedStep の設定を変更すると、BIOS セットアップの設定も変更されます。

第3章
リカバリとインストール

本パソコンをご購入時の状態に戻す「リカバリ」とソフトウェアの「インストール」について説明します。

1　リカバリ 48
2　ソフトウェアのインストール 52

1　リカバリ

WindowsNT が起動されないなどの問題が発生した場合、リカバリを行います。

リカバリの概要

リカバリとは、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」と「リカバリ CD-ROM」を使用して、OS、ドライバなどのプレインストールソフトウェアをご購入時の状態（「プレインストール仕様」（→ P.15））に戻す作業です。

留意事項

- 次のドライバ、ソフトウェアについては、ご購入時の状態には戻りません。リカバリ後、個別にインストールする必要があります。
  - カスタムメイドオプションのアプリケーション
  - モデムドライバ（モデムモデルとコンボモデル）（→ P.52）
- リカバリを行うとCドライブがフォーマットされ、Cドライブのファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップを行ってください。
- リカバリはCドライブ以外のドライブをフォーマットしません。ただし、以下の状態のハードディスクに対してリカバリを実行すると、2GB の FAT 領域を新たに作成するため、ハードディスクのファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップを行ってください。
  - C ドライブの領域が 2GB を超えているハードディスク
  - C ドライブが FAT16 や NTFS 以外のファイルシステムに設定されているハードディスク
- リカバリを行うと、C ドライブは FAT に設定されます。NTFS に変換していた場合は、リカバリ後再度変換してください（→ P.83）。
- オプションを取り付けている場合は、それらをいったん取り外し、ご購入時の状態に戻してください。

リカバリの手順

リカバリは次の手順で行います。

1. 「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」のコピー（→ P.13）
2. リカバリ方法（→ P.49）

リカバリ終了後

リカバリ後、必要に応じてドライバ、添付アプリケーションあるいはカスタムメイドオプションのアプリケーションをインストールしてください（→ P.52）。

リカバリ方法

本パソコンをご購入時の状態に戻す「リカバリ」の手順を説明します。
次のものを用意してください。

- コピーしたリカバリ CD-ROM 起動ディスク（→ P.13）
- リカバリ CD-ROM

ここでのリカバリ方法は、ハードディスクが 2GB 未満の区画の場合です。2GB を超える区画にリカバリを行う場合は「2GB を超える区画にリカバリを行う場合」（→ P.51）の手順を行ってください。

重 要

- **リカバリを行うと、C ドライブのファイルはすべて削除されます。ご注意ください。**
- **リカバリを行う場合は、必ず AC アダプタを接続してください。**

1 BIOS の設定をご購入時の設定に戻します。

WindowsNT セットアップを開始する前に、BIOS セットアップの各設定が以下のようになっているか確認してください（→『ハードウェアガイド』参照）。

- **「メイン」メニュー内（〔NA〕以外）**
  フロッピーディスク A
  （フロッピーディスクを使用する場合）：1.44/1.25MB, 3 1/2"
  （スーパーディスクドライブを使用する場合）：使用しない
- **「詳細」メニュー内（〔NA〕の場合）**
  プラグアンドプレイ対応 OS：いいえ
  周辺機器設定
  - シリアルポート B：使用しない
  - パラレルポート：使用する
  - モード（パラレルポート）：出力のみ
  - フロッピーコントローラ
    （フロッピーディスクを使用する場合）：使用する
    （スーパーディスクドライブを使用する場合）：使用しない
- **「詳細」メニュー内（〔NU〕〔MF〕の場合）**
  プラグアンドプレイ対応 OS：いいえ
  シリアル／パラレルポート設定
  - 赤外線通信ポート：使用しない
  - パラレルポート：使用する
  - モード：出力のみ

  キーボード／マウス設定
  - ホットプラグ：使用しない
    （〔NU〕の内蔵ポインティングデバイス非搭載モデル）
  - 内蔵ポインティングデバイス：常に使用する
    （〔NU〕のワイヤレスマウス添付モデル）
  - ワイヤレスマウス：使用する
    （〔NU〕のワイヤレスマウス添付モデル）

その他の内蔵デバイス設定
・ フロッピーディスクコントローラ
（フロッピーディスクを使用する場合）：使用する
（スーパーディスクドライブを使用する場合）：使用しない

- **「省電力」メニュー内**
省電力モード：使用しない
詳細設定
・ SUS/RES スイッチ（サスペンド／レジュームスイッチ）：使用しない
・ カバークローズサスペンド：使用しない
・ カバーオープンレジューム：使用しない

BIOS の設定をご購入時と異なる設定に変更していると、リカバリ時にエラーメッセージが表示されることがあります。

2 「リカバリCD-ROM起動ディスク」を、書き込み可能な状態にしてセットします。

3 本パソコンを再起動します。
「続けるにはどれかキーを押してください ...」と表示されます。

POINT

- すでに「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」から起動したことがある場合は、上記メッセージは表示されません。手順 5 に進んでください。

4 何かキーを押します。
本パソコンが再起動し、「WindowsNT 4.0 リカバリメニュー」が表示されます。

5 【1】キーを押します。
リカバリに関するメッセージが表示されます。

6 メッセージをよく読み、何かキーを押します。
ハードディスクがフォーマットされたあと、「CD-ROM ドライブに「リカバリ CD-ROM 1 枚目」をセットし、しばらくしたら「Y」キーを押してください。」と表示されます。

7 「リカバリ CD-ROM」をセットし、しばらくしたら【Y】キーを押します。
ファイルのコピーが始まります。
リカバリが終了すると「マスタイメージのリストアが正常に終了しました。」と表示されます。

8 CD-ROM とフロッピーディスクを取り出してから、本パソコンの電源を切ります。

9 再度本パソコンの電源を入れ、以降、第 1 章を参照して操作してください（→ P.10）。

POINT

- Windows セットアップ後は、お使いのモデルに応じて、次のドライバをインストールしてください（→ P.52）。
  - モデムモデルとコンボモデル … モデムドライバ

2GB を超える区画にリカバリを行う場合

重 要

- この作業を行った場合、ハードディスクはすべて初期化されます。

1 「リカバリ方法」の手順 1 ～ 4（→ P.49）までを行います。
「WindowsNT 4.0 リカバリメニュー」が表示されます。

2 【3】キーを押します。

3 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
clearmbr
```

4 【Y】キーを押します。

5 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
cpart.exe  4096
```

POINT

- これは C ドライブを 4GB で作成する例です。
  4GB 以外の大きさで作成する場合は、作成したい大きさを MB 単位で、数字の部分に指定してください。
  2GB 以下、および 4GB を超える区画サイズを指定したときの動作は保証しておりません。

6 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
本パソコンが再起動し、「WindowsNT 4.0 リカバリメニュー」が表示されます。

7 【3】キーを押します。

8 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
format  c:  /u
```

9 【Y】キーを押し、【Enter】キーを押します。
フォーマットが終了すると、「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。

10 何も入力しないで【Enter】キーを押します。

11 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
restore
```

12 このあとは、「リカバリ方法」の手順 7（→ P.50）へ進んでください。

2 ソフトウェアのインストール

一部のドライバおよびアプリケーションのインストール方法を説明します。

操作に必要なもの

- ドライバーズ CD
- 「Windows NT Service Pack6a Disc1」の CD-ROM
- 「Microsoft® IME98」の CD-ROM
- 「ドライバのバックアップ」(→ P.14) で作成した「バックアップディスク」のうち、次のもの
  - 「ドライバディスク for Windows NT(R) 4.0 V1.1 L10D」
  - 「Intel LAN ドライバ V1.0 L20A」

POINT

- カスタムメイドオプションのアプリケーションについては添付の『アプリケーション補足説明書』をご覧ください。
- 必要なドライバやアプリケーションをインストールしたら、Windows NT Service Pack6a を必ずインストールしてください（→ P.53）。
- インストール時に「Windows NT Workstation 4.0 Disc1」の CD-ROM を要求された場合は、「c:¥support¥i386」を指定してください。

ドライバのインストール

重 要

- すでにインストールされているドライバについては、特に問題がない限りインストールしないでください。

ドライバのインストールは、それぞれのドライバのインストール手順をご覧ください。
インストール手順は「ドライバーズ CD」内の次の表の場所にあります。

ドライバ	機種	Readme.txt の保存場所
ディスプレイドライバ	〔NA〕〔NU〕	¥Nt40¥Ati¥Readme.txt
	〔MF〕	¥Nt40¥Trident¥Readme.txt
サウンドドライバ	〔NA〕	¥Nt40¥Esaudio¥Readme.txt
	〔NU〕	¥Nt40¥YMaudio¥Readme.txt
	〔MF〕	¥Nt40¥Mxaudio¥Readme.txt
モデムドライバ	モデムモデル	¥Nt40¥Lbmodem¥Readme.txt
	コンボモデル	¥Nt40¥Ltmodem¥Readme.txt

この表以外のドライバについては、「ドライバーズ CD」内の「Indexcd.htm」で該当するドライバのフォルダ名称を確認し、フォルダ内の Readme.txt をご覧ください。

なお、LAN ドライバのインストール手順につきましては、「ドライバのバックアップ」(→ P.14)で作成した「FMV-1801 LAN ドライバ」のバックアップディスク内の Readme.txt をご覧ください。

3 モードフロッピーディスクドライバのインストール

3 モードフロッピーディスクドライバのインストールは、「バックアップディスク」から行います。

1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。

2 「ドライバディスク for Windows NT(R) 4.0 V1.1 L10D」とラベルが貼られたフロッピーディスクをセットします。

3 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Windows NT エクスプローラ」の順にクリックします。
「エクスプローラ」ウィンドウが表示されます。

4 フロッピーディスクの「¥3mode」フォルダに移動します。

5 「floppy00.inf」を右クリックし、「インストール」をクリックします。

POINT

- 「floppy00」と表示される場合や、「floppy00」が複数表示される場合があります。これは、「登録されているファイルの拡張子は表示しない」がチェックされているためです。Windows NT エクスプローラで「表示」メニュー→「オプション」の順にクリックし、設定できます。

ドライバがインストールされ、再起動メッセージが表示されます。

6 フロッピーディスクを取り出し、「はい」をクリックします。
WindowsNT が再起動すると、3 モードフロッピーディスクドライバが有効になります。

Windows NT Service Pack6a のインストール

Windows NT Service Pack6a には、WindowsNT に対する新しい修正、以前にリリースされた Service Pack の修正が含まれています。ドライバなどをインストールしたら、Windows NT Service Pack6a をインストールしてください。

1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。

2 「Windows NT Service Pack6a Disc1」の CD-ROM をセットします。
Internet Explorer が起動され、「Windows NT 4 Service Pack6」の CD-ROM の説明が表示されます。

POINT

- 目次の「リリースノート」の「SP6 リリース ノート」をクリックすると、Windows NT Service Pack6a の詳細な情報が参照できます。「リリースノート」を参照してからインストールを始めてください。
- 「Windows NT Service Pack6a Disc1」のCD-ROMをセットしてもInternet Explorerが起動されない場合は、「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックし、「名前」に次のように入力して「OK」をクリックし、手順７に進んでください。
  [CD-ROMドライブ]:¥i386¥update¥update.exe

3 目次の「Service Pack 6 のインストール」をクリックします。

4 「Service Pack 6 のインストール（Intel 版）」をクリックします。

「ファイルのダウンロード」ダイアログボックスが表示されます。

5 「このプログラムを上記の場所から実行する」をクリックし、「OK」をクリックします。

「セキュリティ警告」ダイアログボックスが表示されます。

6 「はい」をクリックします。

「Windows NT Service Pack セットアップ」ダイアログボックスが表示されます。

POINT

- Portables Suite をインストールしてある場合は、「コンピュータにサードパーティ製のシステムユーティリティ（パワーマネージメントや PC カードユーティリティなど）がインストールされているのを検出しました。」と表示されます。「OK」をクリックしてください。

7 「同意する」をチェックし、「インストール」をクリックします。

メッセージに従ってインストールを続けます。インストールが終了すると、再起動メッセージが表示されます。

8 「再起動」をクリックします。

POINT

- WindowsNT のバージョン情報は、次の手順で見ることができます。
  1「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
  2「ヘルプ」メニュー→「バージョン情報」の順にクリックします。
- 新しいドライバなどをインストールしたあとは、Service Pack6a を再度インストールしてください。

Ultra DMA/33 の設定

ハードディスクに Ultra DMA/33 の設定を行うことができます。設定できるチャネルは、プライマリ IDE です。

1. 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
2. 「Windows NT Service Pack6a Disc1」の CD-ROM をセットします。
   Internet Explorer が起動され、「Windows NT 4 Service Pack6」の CD-ROM の説明が表示されます。
3. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
4. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   [CD-ROMドライブ]:¥support¥utils¥i386¥dmacheck.exe
   「ATAPI DMA サポート」ダイアログボックスが表示されます。
5. 「チャネル 0」の「DMA 検出状態」で「有効」をクリックし、「OK」をクリックします。
   「警告」ダイアログボックスが表示されます。
6. 「はい」をクリックします。
   「完了」ダイアログボックスが表示されます。
7. 「OK」をクリックします。

以上で設定は終了です。再起動すると、DMA が有効になります。
設定が有効になっているかどうかを確認するには、再度 dmacheck.exe を起動します。

プレインストールソフトのインストール

Intel SpeedStep のインストール（FMV-6750NA7/B、FMV-6650NU7/L、FMV-6600NU7/L、FMV-6600MF7/X）

1. 「ドライバーズ CD」をセットします。
2. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   [CD-ROMドライブ]:¥nt40¥iss¥setup.exe
   「ようこそ」ダイアログボックスが表示されます。
4. 「次へ」」をクリックします。
   「製品ライセンス契約」ダイアログボックスが表示されます。

5 「はい」をクリックします。
「セットアップの完了」ダイアログボックスが表示されます。

6 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」をクリックし、「完了」をクリックします。

FM Advisor のインストール

1 「ドライバーズ CD」をセットします。

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROMドライブ]:¥nt40¥fmadv¥advisor¥setup.exe
メッセージに従ってインストールを続けます。

Acrobat Reader のインストール

1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。

2 「ドライバーズ CD」をセットします。

3 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

4 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROMドライブ]:¥nt40¥ac¥acrd4jpn.exe

5 「次へ」を２回クリックします。

6 「情報」で「OK」をクリックします。

7 本パソコンを再起動します。

FMV 診断のインストール

1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。

2 「ドライバーズ CD」をセットします。

3 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

4 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROMドライブ]:¥nt40¥fmvdiag¥enterprise¥disk1¥setup.exe
メッセージに従ってインストールを続けます。

添付ソフトのインストール

MS-IME98 のインストール

1 「Microsoft® IME98」の CD-ROM をセットします。
しばらくすると、「Microsoft IME98 セットアップ」ダイアログボックスが表示されます。

2 「継続」をクリックします。
メッセージに従ってインストールを続けます。

Internet Explorer 5.0 のインストール

ご購入時には Internet Explorer 5.01 がインストールされています。また、「Internet Explorer 5.0」は「Windows NT Service Pack6a Disc1」に添付されています。
必要に応じて、Internet Explorer 5.0 をインストールしてください。

POINT

- Internet Explorer のインストールは、Windows NT Service Pack6a のインストール後に行ってください。

1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。

2 「Windows NT Service Pack6a Disc1」の CD-ROM をセットします。
「Microsoft Windows NT 4 Service Pack 6」ウィンドウが表示されます。

3 目次の「Microsoft Internet Explorer 5」をクリックします。

4 IE5 のインストール (Intel 版)（NEC PC-9800 シリーズを含みます）をクリックします。
「ファイルのダウンロード」ダイアログボックスが表示されます。

5 「このプログラムを上記の場所から実行する」を選択し、「OK」をクリックします。

6 「セキュリティ警告」ダイアログポックスが表示されます。

7 「はい」をクリックします。

8 「使用許諾」を読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。

9 インストール方法を選択し、「次へ」をクリックします。

POINT

- 「セキュリティ警告」ダイアログボックスが表示されたら、「はい」をクリックしてください。

コンポーネントのインストールが開始されます。
終了すると、再起動メッセージが表示されます。

10 「完了」をクリックします。
本パソコンが再起動します。

11 WindowsNT にログオンします。
「Windows Update」ダイアログボックスが表示され設定が行われます。
デスクトップが表示されたら、インストールは終了です。

TouchPad のインストール（〔NA〕）

POINT

- カスタムメイドオプションでフラットポイント以外のポインティングデバイスを選択した場合は、TouchPad をインストールする必要はありません。
- NIFTY MANAGER、VirusScan は、TouchPad のインストール前にインストールしてください。
- TouchPad インストール後にアプリケーションをインストールすると、インストールが途中で止まる場合があります。このときは、「コントロールパネル」ウィンドウの「マウス」でいったん標準のマウスに戻してからアプリケーションのインストールを行ってください。

1 「ドライバーズ CD」をセットします。

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:¥nt40¥Synap¥setup.exe

インストールが始まります。次のポイントを参照し、メッセージに従って操作してください。

POINT

- 「緊急修復ディスクの作成、または更新を行ってください。」というメッセージが表示されたら、「インストールの前に緊急修復ディスクユーティリティを実行します」のチェックを外し、「次へ」をクリックします。
- TouchPad は「コントロールパネル」ウィンドウの「マウス」でポインティングデバイスの機能を拡張できます。必要に応じて設定してください。

GlidePoint のインストール（〔NU〕〔MF〕）

POINT

- カスタムメイドオプションでフラットポイント以外のポインティングデバイスを選択した場合は、GlidePoint をインストールする必要はありません。
- NIFTY MANAGER、VirusScan は、GlidePoint の前にインストールしてください。
- GlidePointインストール後にアプリケーションをインストールすると､インストールが途中で止まる場合があります。このときは､「コントロールパネル」ウィンドウ→「マウス」でいったん標準のマウスに戻してからアプリケーションのインストールを行ってください。
- GlidePoint と Portables Suite は併用できません。
- PS/2 マウスを接続する場合は、パソコン本体の電源を切るかサスペンドさせてください。
- 他のマウスドライバをインストールしている場合､GlidePointのドライバはインストールしないでください。

1 「ドライバーズ CD」をセットします。

2 「コントロールパネル」ウィンドウの「マウス」アイコンをダブルクリックします。

3 「全般」タブの「変更」をクリックします。
「デバイスの選択」ダイアログボックスが表示されます。

4 「ディスク使用」をクリックします。
「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。

5 「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROMドライブ]:¥nt40¥alps
「デバイスの選択」ダイアログボックスが表示されます。

6 「Alps GlidePoint」をクリックし、「OK」をクリックします。
「デバイスのインストールの確認」ダイアログボックスが表示されます。

7 「はい」をクリックします。
ファイルがコピーされます。ファイルのコピーが終了すると､「名前」に「Alps GlidePoint」と表示されます。

8 「閉じる」をクリックします。
再起動メッセージが表示されます。

9 「はい」をクリックします。
本パソコンが再起動され、設定が有効になります。

GlidePoint は「コントロールパネル」ウィンドウの「マウス」でポインティングデバイスの機能を拡張できます。必要に応じて設定してください。

ワンタッチボタン設定のインストール（〔MF〕）

1 「ドライバーズ CD」をセットします。

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:¥nt40¥qtouch¥setup.exe

メッセージに従ってインストールを続けます。

VirusScan のインストール

1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。

2 「ドライバーズ CD」をセットします。

3 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

4 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:¥nt40¥vsnt¥setup.exe

インストールが始まります。次のポイントを参照し、メッセージに従って操作してください。

POINT

- 「サービスアカウント情報」ダイアログボックスでは、管理者権限を持った「ユーザー名」とその「パスワード」を入力してください。

5 インストール終了後、次のファイルをコピーします。

- コピーするファイル
  [CD-ROMドライブ]:¥Nt40¥Vsnt¥Update¥Clean.dat
  [CD-ROMドライブ]:¥Nt40¥Vsnt¥Update¥Names.dat
  [CD-ROMドライブ]:¥Nt40¥Vsnt¥Update¥Scan.dat
- コピー先
  C:¥Program Files¥Network Associates¥VirusScan NT

POINT

- ファイルのコピー先は、VirusScan のインストール先のディレクトリが標準（初期値）である場合です。変更した場合は読み替えてください。
- 「ファイルのコピーのエラー」ダイアログボックスが表示された場合は、タスクバーの「VShield」アイコンを右クリックし「使用不可」をクリックしてから、再度ファイルをコピーしてください。
- 「ファイルの上書きの確認」ダイアログボックスが表示された場合、「はい」をクリックしてください。

FMKEEPER のインストール

インストール手順につきましては、「ドライバーズ CD」の「Update」フォルダにある「Etc」フォルダの「Fmkeeper」フォルダ内の Readme.txt をご覧ください。

FM-Menu のインストール

1. 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
2. 「ドライバーズ CD」をセットします。
3. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
4. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

   [CD-ROMドライブ]:¥nt40¥fmmenu¥setupfm-menu.exe

   メッセージに従ってインストールを続けます。

はじめよう！インターネット（@nifty）のインストール

1. 「ドライバーズ CD」をセットします。
2. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

   [CD-ROMドライブ]:¥nt40¥niftysgn¥niftysgn¥Setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

NIFTY MANAGER のインストール

重 要

- セットアップの途中でインストールが止まってしまうことがあります。そのような場合は、Internet Explorer を起動し、何らかの HTML ファイルを開いてください。セットアップに戻ります。

1. 「ドライバーズ CD」をセットします。
2. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

   [CD-ROMドライブ]:¥nt40¥nifty¥niftynim¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

第4章
困ったときに

おかしいなと思ったときや、わからないことがあったときの対処方法について説明しています。

1　こんなときには 64
2　それでも解決できないときは 71

1　こんなときには

ここでは、WindowsNT の使用時に直面する問題について、Q&A 形式でまとめています。また、トラブルが発生したときや困ったときの参照先を説明しています。

トラブル発生時の参照先

WindowsNT に関して

添付の WindowsNT のマニュアルか、「スタート」メニューに登録されているオンラインヘルプをご覧ください。

ハードウェアに関して

『ハードウェアガイド』をご覧ください。

WindowsNT に関する Q&A

Q　ディスプレイドライバ、サウンドドライバ、LAN ドライバが正しく動作しない

A　各ドライバをインストールし直す必要があります。
お使いの機種に対応する各ドライバは、「デバイス一覧」（→ P.17）でご確認ください。
インストール方法については、「ドライバのインストール」（→ P.52）をご覧ください。

Q　モデムの追加方法は？（モデムモデルとコンボモデルを除く）

A　次の手順で追加してください。
モデムモデルとコンボモデルの場合は、「ドライバのインストール」（→ P.52）で該当するドライバのフォルダ名称を確認し、フォルダ内にある Readme.txt をご覧ください。

1　管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
2　「コントロールパネル」ウィンドウの「モデム」アイコンをダブルクリックします。
「新しいモデムのインストール」ダイアログボックスが表示されます。
3　「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックし、「次へ」をクリックします。
4　「製造元」からモデムメーカーを、「モデル」から該当するモデムを選択し、「次へ」をクリックします。

POINT

- モデムにドライバディスクが添付されている場合は、それらをセットしてから、「ディスク使用」をクリックし、該当するモデムを選択します。

5「選択したポート」をクリックし、表示されている COMn（n には数字が表示されています）をクリックして、「次へ」をクリックします。
6「完了」をクリックします。
「モデムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
7「ダイヤルのプロパティ」をクリックします。
8 所在地の設定を行い、「OK」をクリックします。
国／地域番号：現在お使いになっている国を選択します（例：日本）。
市外局番：現在お使いになっている場所の市外局番を入力します（例：03）。
外線発信番号：内線を使用している方で、外線にかける場合に必要な番号を入力します（例：0）。
ダイヤル方法：電話の契約がプッシュ回線の場合はトーン、ダイヤル回線の場合はパルスを選択します。
9「閉じる」をクリックします。

Q　ポータブル CD-ROM ドライブ（FMV-NCD403/402）を利用してリカバリしたい

A　次の手順で「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を一部修正してお使いください。

1 コピーした「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットし、本パソコンを再起動します。
「続けるにはどれかキーを押してください」と表示されます。
2 お使いのコンピュータに合わせて環境を変更します。
3【Ctrl】+【C】キーを同時に押します。
「バッチ処理を終了しますか?」と表示されます。
4【Y】キーを押します。
5 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
copy  a:¥config.pc  a:¥config.sys
```

「A:¥CONFIG.SYS を上書きしますか?」と表示されます。
6【Y】キーを押し、【Enter】キーを押します。
「1 個のファイルをコピーしました .」と表示されます。
7 次のようにと入力し「Enter」キーを押します。

```
del  a:¥first
```

FMV-NCD403/402 対応のリカバリ CD-ROM 起動ディスクの作成は終了です。

Q　プリンタの追加方法は？

A1　次の手順で追加してください。

1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
2「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。
3「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。
「プリンタの追加ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。
以降は、ローカルプリンタを追加するか、ネットワークプリンタを追加するかで手順が異なります。

ローカルプリンタの場合

4「このコンピュータ」をクリックし、「次へ」をクリックします。
5「利用可能なポート」の「LPT1:」をチェックし、「次へ」をクリックします（通常はLPT1 ですが、空いていない場合は別のポートを選択します）。
6「製造元」からプリンタメーカーを、「プリンタ」から該当するプリンタを選択し、「次へ」をクリックします。

POINT

- **プリンタにドライバディスクが添付されている場合は、それらをセットしてから「ディスク使用」をクリックし、該当するプリンタを選択します。**

7「プリンタ名」でプリンタの名前を付け、「次へ」をクリックします。すでにほかのプリンタドライバがインストールされている場合は、Windows アプリケーションで選択したプリンタを通常使うかどうかを選択し、「次へ」をクリックします。
8 プリンタを共有しない場合は、「共有しない」をクリックし、「次へ」をクリックします。共有する場合は「共有する」をクリックし、「共有名」を付け、「次へ」をクリックします。
9 テストページを印刷する場合は、「はい（推奨）」をクリックし、印刷しない場合は「いいえ」をクリックして、「完了」をクリックします。

ネットワークプリンタの場合

4「ネットワークプリンタサーバー」をクリックし、「次へ」をクリックします。
「プリンタの接続」ダイアログボックスが表示されます。
5「共有プリンタ」からプリンタを選択し、「OK」をクリックします。
6 すでに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、Windows アプリケーションで選択したプリンタを通常使うかどうかを選択し、「次へ」をクリックします。
7「完了」をクリックします。

Q　WindowsNT で光磁気ディスクを使用するには？

A　PC カード（SCSI）接続の光磁気ディスクドライブを使用してください。

Q　光磁気ディスクドライブをスーパーフロッピー形式で使用するには？

A　光磁気ディスクドライブの設定は必要ありません。光磁気ディスクをスーパーフロッピー形式でフォーマットするには、本パソコンに添付の「MO ディスクフォーマッタ」を使用してください。

次の手順で MO ディスクフォーマッタをインストールしてください。

1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。

2 「ドライバーズ CD」をセットします。

3 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

4 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

　[CD-ROM ドライブ]:¥nt40¥moformat¥setup.exe

5 あとはメッセージに従ってインストールします。

なお、MO ディスクフォーマッタの使用方法については、「ドライバーズ CD」の「¥Nt40¥Moformat¥Readme.txt」をご覧ください。

POINT

- MOディスクフォーマッタを使用する場合は、Card Executiveに対応したSCSIドライバを使用しないでください。

Q　キーボードの NumLock がオンの状態で、WindowsNT を起動する方法は？

A　次の手順で設定してください。

1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

2 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

　regedt32

3 「ローカルマシン上の HKEY_CURRENT_USER」ウィンドウをアクティブにし、次のレジストリに移動します。

　「HKEY_CURRENT_USER¥Control Panel¥Keyboard」

4 「InitialKeyboardIndicators」をダブルクリックします。

5 「文字列」に「2」を入力し、「OK」をクリックします。

6 「レジストリ」メニュー→「レジストリエディタの終了」の順にクリックします。

重 要

- レジストリの変更時に誤った設定を行うと、本パソコンが起動できなくなることがあります。変更するときは、十分に注意してください。

Q　Windows95 や MS-DOS のように、パソコン同士をシリアルケーブルで接続してデータのやりとりができますか？

A　RAS（Remote Access Service）の機能を使うことによって、シリアルケーブル接続でのデータのやりとりが可能です。

「Q: モデムの追加方法は？（モデムモデルとコンボモデルを除く）」（→ P.64）に従ってモデムの追加を行います。このとき、「製造元」から「(標準のモデムドライバ)」を、「モデル」から「シリアルケーブル PC-PC 接続」を選択してください。

Q　ログオン時のパスワードに、大文字、小文字の区別はありますか？

A　あります。

Q　自動ログオン（パスワード入力なしでログオンすること）の設定方法は？

A　次の手順で設定してください。

1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
2「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

```
regedt32
```

4「ローカルマシン上の HKEY_LOCAL_MACHINE」ウィンドウをアクティブにし、以下のレジストリに移動します。
「HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Windows NT¥CurrentVersion¥Winlogon」
5「AutoAdminLogon」をダブルクリックします。
6「文字列」の値を「1」に変更し、「OK」をクリックします。
7「DefaultPassword」をダブルクリックします。
8「文字列」に DefaultUserName の下にリストされたユーザーのパスワードを入力し、「OK」をクリックします。
9「レジストリ」メニュー→「レジストリエディタの終了」の順にクリックします。

重 要

- 手順 8 でパスワードを設定しない場合は、次回のログオン時のみ自動ログオンできます。
- レジストリの変更時に誤った設定を行うと、本パソコンが起動できなくなることがあります。変更するときは、十分に注意してください。
- 手順 5 および手順 7 のレジストリの値がない場合は、「編集」メニュー→「値の追加」の順にクリックし、それぞれ次のように入力して、「OK」をクリックします。
  - 手順 5
    値の名前：AutoAdminLogon
    データタイプ：REG_SZ
  - 手順 7
    値の名前：DefaultPassword
    データタイプ：REG_SZ
- ネットワーク環境において、WindowsNT 4.0 の自動ログオン機能を使用する場合、本パソコン起動時にサーバーに接続できないことがあります。この場合は、サーバーへの再接続を行ってください。
- 自動ログオン機能を使用してネットワークに接続した場合、正規ユーザー以外がネットワークにログインすることが可能になります。セキュリティ上の問題が発生する場合、自動ログオン機能を使用しないでください。

Q　マウスポインタのデザインを変えるには？

A　「コントロールパネル」ウィンドウの「マウス」アイコンをダブルクリックし、「ポインタ」タブで設定してください。

なお、ご購入時や WindowsNT の標準インストール後は、一部のデザインのマウスポインタしかインストールされていません。次の手順でマウスポインタをインストールしてください。

1「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
2「Windows NT セットアップ」タブをクリックします。
3「ファイルの種類」から「アクセサリ」をクリックし、「詳細」をクリックします。
4「ファイルの種類」の「マウスポインタ」をチェックし、「OK」をクリックします。
5「適用」をクリックします。
「ディスクの挿入」ダイアログボックスが表示されます。
6「OK」をクリックします。
「ファイルが必要」ダイアログボックスが表示されます。
7「コピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

```
c:¥support¥i386
```

ファイルのコピーが始まります。コピーが終了すると「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスに戻ります。
8「OK」をクリックします。

Q　オンラインヘルプやエラーメッセージの対処方法を参照しても原因がわからない

A　本パソコンでは、次のパソコン診断アプリケーションを用意しています。

FM Advisor

FM Advisor の使用方法は次のとおりです。

1「スタート」ボタン→「プログラム」→「FM Advisor」→「FM Advisor」の順にクリックします。
調査結果が表示されます。

FMV 診断

FMV 診断の使用方法は次のとおりです。

1「スタート」ボタン→「FMV 診断」の順にクリックします。
あとはメッセージに従って操作してください。

POINT

- 起動中のアプリケーションや常駐プログラムはすべて終了してください。
- スクリーンセーバーは「なし」に設定してください。
- フロッピーディスクドライブを診断する場合は、フォーマット済みのフロッピーディスクをセットしてください。
- CD-ROM ドライブを診断する場合は、お手持ちの CD-ROM をセットしてください。

Q　**「レジストリクォータ不足」の警告（「システムのレジストリクォータが不足しています。レジストリクォータを増やすには、「コントロールパネル」ウィンドウの「システム」を起動して「仮想メモリ」をクリックしてください。」）が表示されたら？**

A　**次の手順で設定してください。**

1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
2 実行中のアプリケーションを終了します。
3「コントロールパネル」ウィンドウの「システム」アイコンをダブルクリックします。
「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
4「パフォーマンス」タブをクリックし、仮想メモリの「変更」をクリックします。
5「最大レジストリサイズ（MB）」に「19」と入力し、「OK」をクリックします。
「システムのプロパティ」ダイアログボックスに戻ります。
6「OK」をクリックします。
7「今すぐ再起動しますか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。

操作後も上記のメッセージが表示される場合は、「最大レジストリサイズ（MB）」を「20」以上に設定してください。

Q　**表示画面が乱れる**

A　**アプリケーションを使用中に、アイコンやウィンドウの一部が画面に残ってしまった場合は、以下の手順でウィンドウの再表示を行ってください。**

1 ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、アプリケーションを最小化します。
2 タスクバーに最小化されたアプリケーションのボタンをクリックすると、ウィンドウが再表示されます。

POINT

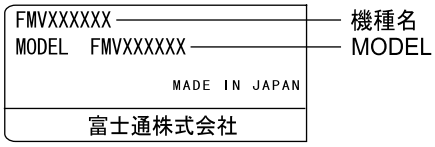
- **以下のような場合に表示画面が乱れることがありますが、動作上は問題ありません。**
  - Windows 起動時および画面の切り替え時
  - DirectX を使用した一部のアプリケーション使用時

2　それでも解決できないときは

下記の連絡先にお問い合わせください。なお、お問い合わせ前に機種名と MODEL を確認し、次のページのシートに環境とトラブル状況などを記入してください。

機種名と MODEL の表記場所

パソコン本体下面のラベルに記載されています。



連絡先

こんなときには	こちらへ
添付品の不備	ご購入元
故障かなと思われたとき	弊社パーソナルエコーセンター※またはご購入元
FM シリーズの技術的なご質問・ご相談	FM インフォメーションサービス※
本パソコンにインストールされているソフトウェアのお問い合わせ	本書の冒頭に記載されている「お問い合わせ一覧」(→ P.5)

※：パーソナルエコーセンターと FM インフォメーションサービスの連絡先は、添付の『修理サービス網一覧表』をご覧ください。

情報サービス

また、次の方法で情報サービスを行っております。

富士通パソコン FAX サービス （カタログ、Q&A 情報）	043-299-3642（千葉） 06-6949-3270（大阪）
インターネット （製品の技術情報、Q&A 情報）	富士通パソコンホームページ FM WORLD http://www.fmworld.net/
FM シリーズの音声による Q&A 情報	FM インフォメーションテレホンガイド 0120-89-2235

お問い合わせ前の確認シート

お客様の環境

お使いの パソコンの 機種は？	機種名：FMV	
	MODEL：FMV	
	購入日：	購入店：

メモリの容量は？	本体標準：　　MB	
	増設：　　MB	［メーカー：　　］ ［型番：　　］

	種類	型番号	メーカー
増設した 周辺機器は？			

	ソフトウェア名	バージョン／レベル	メーカー
お使いの ソフトウェアは？	Windows NT	4.00（Service Pack　）	－

トラブル状況

トラブルの内容は？	
何をしているときに 起こりましたか？	
エラーメッセージは 表示されましたか？ その内容は何ですか？	
以前は問題なく 動作していましたか？	・ 以前は動作した ・ 今回初めて試した ・ 以前から動作しない

第 5 章
技術情報

ファイルシステムの変換方法や留意事項などについて説明しています。

1　その他の留意事項 74
2　ファイルシステムの変換 83
3　PHDISK ユーティリティについて 84

1　その他の留意事項

本パソコンをお使いになるうえでの留意事項を記載しています。

WindowsNT の CD-ROM を要求された場合

ドライバのインストール時などに、「Windows NT Workstation 4.0 Disc1」の CD-ROM を要求される場合があります。このときは、「c:¥support¥i386」を指定してください。

重　要

- 「C:¥Support¥I386」フォルダは削除しないでください。削除すると、ネットワークコンポーネントの追加などができなくなります。

本パソコンで使用するソフトウェア

古いバージョン／レベルのソフトウェア（アプリケーション、ドライバ）を使用すると、本パソコンおよびソフトウェアが正常に動作しない場合があります。本パソコンに添付されているソフトウェアは、添付されているバージョンを使用するか、その最新版を入手して使用してください。

また、本パソコンに添付されていないソフトウェアの場合も、最新版を使用してください。

他の OS を使うには

他の OS を使うには、いくつかの設定を行う必要があります。また機種により使用できない OS もあります。詳しくは、富士通パソコンホームページ FM WORLD（http://www.fmworld.net/）をご覧ください。

なお、インターネットをご利用になれない場合は、ご購入元にご確認ください。

Acrobat Reader について

市販のアプリケーションによっては、インストールの際に、Acrobat Reader を一緒にインストールするものがあります。このとき、本パソコンにプレインストールされている Acrobat Reader 4.05 よりも低いバージョンのものがインストールされてしまうことがあります。

バージョンをご確認のうえ、Acrobat Reader 4.05 をインストールし直してください（→ P.56）。

ディスクアドミニストレータ

ディスクアドミニストレータがディスクにアクセスできるようにするために、初めてディスクアドミニストレータを起動したとき、ディスクに署名を書き込む必要があります。次の手順で署名を書き込んでください。

1　ディスクアドミニストレータを起動すると、「ディスクアドミニストレータ」ダイアログボックスが表示されるので、「OK」をクリックします。

「確認」ダイアログボックスが表示されます。

2　「はい」をクリックします。

ディスクに署名が書き込まれ、ディスクアドミニストレータでディスクをアクセスできるようになります。

Windows NT 4.0 Service Pack6a に関する留意事項

- Windows NT 4.0 Service Pack6a をインストールした環境に新しいコンポーネントをインストールすると、正常に動作しない場合があります。
  これは、追加したコンポーネントのファイルが、Service Pack6a のコンポーネントのファイルと異なる場合があるためです。たとえば、Service Pack6a をインストール後、ネットワークを組み込んだときに、サーバーサービスが正常に動作しなくなる現象が確認されています。原因は、「C:¥Support¥I386」からインストールされたネットワークモジュールが、Service Pack6a のネットワークモジュールと異なるためです。このような場合は、再度 Service Pack6a をインストールする必要があります。
  詳細は、「Windows NT Service Pack6a Disc1」の CD-ROM の説明をご覧ください。
- ネットワークがインストールされていない環境に Service Pack6a をインストールしたあと、フォントやマルチメディアドライバなどを追加する際に「参照」をクリックすると、WindowsNT がインストールされているドライブしか表示されない場合があります。
  インストール元がフロッピーディスクまたは CD-ROM の場合は WindowsNT がインストールされているドライブに適当なフォルダを作成し、このフォルダにインストールするドライバやファイルをあらかじめコピーしてからインストールしてください。
  なお、「マルチメディア」の「ドライバのインストール」では、フルパスを入力してインストールすることもできます。
- シャットダウン時またはログオフ時、次のエラーメッセージが表示されることがありますが、動作に問題はありません。
  「ウィンドウステーションがシャットダウン中であるためアプリケーションが初期化に失敗しました。」
  このメッセージが表示されたあとにログオンすると、日本語入力システムとして MS-IME97 を使用している場合、下記の現象が起きることがあります。なお、文字入力は正常に行えます。
  - MS-IME97 のツールバーを「タスクバーに入れる」に設定していると、「日本語入力インジケータ」が表示されなくなることがあります。
    「日本語入力インジケータ」を表示させるには、MS-IME97 を再度オンにしてください。
  - MS-IME97 のツールバーを「ドッキング可能」に設定していても、ドッキング機能が有効にならないことがあります。

- 「画面のプロパティ」の「スクリーンセーバー」タブで、スクリーンセーバーとして「チャンネルスクリーンセーバー」を指定しないでください。アプリケーションエラーが発生します。
- ソフトウェアを使用するときに、次のようなメッセージが表示される場合があります。

  パフォーマンスモニタ：perfmon.exe -DLL が見つかりません。
  ダイナミック リンク ライブラリ snmpapi.dll が指定されたパス
  C:¥WINNT¥system32;.;C:¥WINNT¥system32;C:¥WINNT¥system;
  C:¥WINNT;C:¥WINNT¥system32;C:¥WINNT に見つかりません。

  この場合、次の方法で回避できます。
  - ネットワークプロトコルに「TCP/IP プロトコル」を追加する。
  - 「Windows NT Service Pack6a Disc1」内の「¥I386¥Snmpapi.dll」を「C:¥Winnt¥System32」にコピーする。
- イベントビューアにエラーが登録される場合について

  本ワークステーションへのログオン時、「イベントビューア」に以下のエラーが登録される場合があります。この場合、下記に記載してあるいずれかの方法にて回避してください。

  イベント ID：7001
  ソース：　Service Contol Maneger
  種類：　エラー
  説明：　Protected Storage サービスは次のエラーのために開始できなかった Remote ProcedureCall (RPC) Service サービスに依存します :
  サービスは開始後に開始待ち状態でハングしました。

  イベント ID：7022
  ソース：　Service Contol Maneger
  種類：　エラー
  説明：　Remote Procedure Call (RPC) Service サービスは開始時にハングしました。

  - 回避方法
  - 1. IPX プロトコルを削除する。

    IPXプロトコルを使用していない場合は以下の手順に従いIPXプロトコルを削除します。

    1 「ネットワークコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。「ネットワーク」ダイアログボックスが表示されます。
    2 「プロトコル」タブをクリックし、「ネットワークプロトコル」から「NWLink IPX/SPX 互換トランスポート」を選択し「削除」ボタンをクリックします。
    3 「はい」をクリックします。
  - 2. TCP/IP プロトコルをインストールし、TCP/IP プロトコルを使用する。
  - 3. DCOMCNFG の既定のプロトコルタブで NetBEUI の優先順位を上げる。

    1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
    2 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

      dcomcnfg

      「分散 COM の構成のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
    3 「既定のプロトコル」タブを選択し、「DCOM プロトコル」から「Connection-oriented NetBEUI」を選択します。
    4 「Connection-oriented NetBEUI」が「Datagram IPX」より上に表示されるまで「上へ」をクリックします。
    5 「OK」をクリックします。

ダイヤルアップ接続設定後に発生する問題

Internet Explorer 起動時に、インターネット接続ウィザードのセットアップオプションで「新しいインターネットアカウントにサインアップします（電話回線はモデムに接続されています）」を選択してダイヤルアップ設定を行うと、WindowsNT 起動時に次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「1 つ以上のサービスまたはドライバがシステム起動時にエラーになりました。
詳しくはイベントビューアを使用してイベントログを確認してください。」

このときイベントログに「システム接続されたデバイスが機能していません。」という内容のエラーが記録されます。

このエラーメッセージを表示させないようにするためには、Service Pack6a を再インストールしてください。

スーパーディスクドライブ取り付け時の設定（〔NA〕〔MF〕）

スーパーディスクドライブを取り付ける場合は、次の設定を行ってください。

1. 「コントロールパネル」ウィンドウの「デバイス」アイコンをダブルクリックします。
   「デバイス」ダイアログボックスが表示されます。
2. 「デバイス」から「Sfloppy」を選択し、「スタートアップ」をクリックします。
3. 「スタートアップの種類」の「ブート」をクリックし、「OK」をクリックします。
   「デバイス」ダイアログボックスが表示されます。
4. 「はい」をクリックします。
5. 「閉じる」をクリックします。
6. WindowsNT をシャットダウンし、本パソコンの電源を切ります。
7. スーパーディスクドライブを取り付けます。
8. 本パソコンの電源を入れます。
9. BIOS セットアップを行います（→『ハードウェアガイド』参照）。

POINT

- スーパーディスクドライブにスーパーディスクもしくはフロッピーディスクなどの媒体をセットした状態で WindowsNT にログオンすると、セットされている媒体をエクスプローラからフォーマットできなくなります。
  スーパーディスクドライブに媒体がセットされていないことを確認してから、WindowsNT にログオンしてください。

サウンドに関する留意事項（〔MF〕）

〔MF〕では MIDI 音源を内蔵していません。

全画面表示の設定（〔NA〕〔NU〕）

画面を通常表示または全画面表示に表示できます。液晶ディスプレイよりも小さな解像度に設定したときに、画面がディスプレイ中央に小さく表示または全画面表示されるようにするには、次の手順で設定を変更してください。

1 デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

2 「ATI 画面」タブをクリックします。

3 「パネル」をクリックします。
「ATI のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

4 「イメージをパネルサイズに」の左側の または をクリックします。

- にすると、液晶ディスプレイよりも小さい解像度に設定した場合は、画面が液晶ディスプレイ中央に小さく表示されます。
- にすると、液晶ディスプレイよりも小さい解像度に設定した場合は、画面が液晶ディスプレイ全体に大きく表示されます。

5 「OK」をクリックし、すべてのダイアログボックスを閉じます。

ビデオ CD をお使いになる場合

本パソコンでビデオ CD をお使いになる場合は、媒体（ビデオ CD など）をセットしていない状態で本パソコンを起動後、ビデオ CD をセットして再生してください。

スーパーフロッピー形式の光磁気ディスク

SCSI カードなどに添付されているフォーマッタを使用して、光磁気ディスクをスーパーフロッピー形式でフォーマットした場合、WindowsNT で認識できないことがあります。光磁気ディスクをスーパーフロッピー形式でフォーマットする場合は、添付の「MO ディスクフォーマッタ」を使用してください（→ P.67）。

内蔵モデム経由でナンバーディスプレイ対応の電話番号に接続するには

「184」「186」を付けてダイヤルすると正常に接続できない場合があります。「184」「186」と接続先の電話番号の間に「,（カンマ）」を入れてダイヤルしてください。

ネットワーク使用時の留意事項

次の LAN デバイスを複数使用したネットワーク運用は行えません。

- 2 枚の LAN カード
- パソコン本体の内蔵 LAN デバイスと LAN カード

LAN の設定を変更する（LAN モデルとコンボモデル）

LAN の設定を変更する場合は、WindowsNT を再起動後、使用環境に合わせて変更してください。また、LAN の設定を変更するには、LAN ケーブルが接続されている必要があります。設定する値については、ネットワーク管理者にご確認ください。

■ ハブユニットの Link ランプが点灯しない、通信できない、通信が異常に遅い場合

ハブユニットの仕様や設定に合わせてアダプタの設定を変更してください。
Intel(R) PROSet で「Speed」と「Duplex」を「Auto Detect」からハブユニットに合った通信速度に変更してください。

重 要

- Intel(R) PROSet 起動前に、他のアプリケーションをすべて終了させてください。
- Intel(R) PROSet の「Support」タブは使用できません。

1 「コントロールパネル」ウィンドウの「Intel(R) PROSet」アイコンをダブルクリックします。

2 「Advanced」タブの「Setting」で変更する項目をクリックし、「Value」に値を指定します。

- Speed：伝送路速度を指定します。指定しない場合は自動認識で動作します。
  10Mbps（10 BASE-T）
  100Mbps（100 BASE-TX）
- Duplex：通信方式を指定します。指定しない場合は自動認識で動作します。
  Half-Duplex（半二重モード）
  Full-Duplex（全二重モード）

POINT

- 全二重モードに設定する場合、ハブユニット側も全二重モードに設定する必要があります。

■ ローカルアドレス

ローカルアドレスを使用する場合は、Intel(R) PROSet の「Advanced」タブの「Setting」で「Locally Administered Address」を変更してください。

重 要

- Intel(R) PROSet 起動前に、他のアプリケーションをすべて終了させてください。
- Intel(R) PROSet の「Support」タブは使用できません。

1 「コントロールパネル」ウィンドウの「Intel(R) PROSet」アイコンをダブルクリックします。

2 「Advanced」タブの「Setting」で「Locally Administered Address」をクリックし、「Value」に値を指定します。

「Value」には、「02」で始まる 16 進 12 桁を入力してください。グローバルアドレスに戻したい場合は「Restore Default」をクリックしてください。

プリンタ関連の留意事項

■ FMLBP シリーズ、FMPR シリーズをお使いの場合

デバイスフォントの白色を使用した場合、印刷結果が画面と異なる場合があります。白色で印刷する場合は、デバイスフォント以外で印刷してください。

■ FMLBP225PS、FMLBP211PS をお使いの場合

- 「ドキュメント」ダイアログボックスの「ドキュメントのオプション」内の「プリンタの機能」にある「標準に戻す」は機能しません（クリックしても、変更前の設定状態には戻りません）。
- 「ドキュメント」ダイアログボックスの「ハーフトーンカラーの調整」で「明るさ」や「コントラスト」などを調整しても、印刷には反映されません。
- 用紙の種類を「A4 横」のような「××横」に設定しても、正しく印刷できません。このようなデータを印刷する場合は、用紙の種類で「A4」印刷の向きを「横」のようにして印刷してください。

■ 任意の用紙サイズを設定する場合

富士通 FM シリーズ用シリアルプリンタでフォームを使用する場合、使用できるフォームのサイズはそれぞれのドライバによって次の範囲となっています。この範囲外のものは使用できません。なお、下記のシリアルプリンタのすべてについて動作を保証するものではありません。

- 用紙サイズの設定

  プリンタの「ファイル」メニュー→「サーバのプロパティ」の順にクリックし、「用紙」タブの「新しい用紙を作成する」をチェックして作成します。任意の用紙サイズを設定できます。

  詳細については、WindowsNT のマニュアルおよびオンラインヘルプをご覧ください。

  幅：50 ～ 345.4mm（1.79 ～ 13.6 インチ）高さ：50 ～ 420.0mm（1.79 ～ 16.5 インチ）のドライバ（136 桁プリンタ）

「FUJITSU FMPR 180」	「FUJITSU FMPR 180 (Color)」
「FUJITSU FMPR-353G2」	「FUJITSU FMPR-353A2」
「FUJITSU FMPR-361」	「FUJITSU FMPR-372」
「FUJITSU FMPR-671」	「FUJITSU FMPR-654」
「FUJITSU FMPR-359F1」	「FUJITSU FMPR-455」
「FUJITSU FMPR-456」	「FUJITSU FMPR-371A」
「FUJITSU FMPR-374」	「FUJITSU FMPR-366 (Monochrome)」
「FUJITSU FMPR-373 (Color)」	「FUJITSU FMPR-366 (Color)」
「FUJITSU FMLP-351」	「FUJITSU FMPR-373 (Monochrome)」
「FUJITSU FMPR-672」	

幅：50 ～ 203.2mm（1.79 ～ 8 インチ）高さ：50 ～ 420.0mm（1.79 ～ 16.5 インチ）のドライバ

（80 桁プリンタ）

「FUJITSU FMPR-302G2」　「FUJITSU FMPR-302A2」
「FUJITSU FMPR-204B」　「FUJITSU FMPR-204W」
「FUJITSU FMPR-101W」　「FUJITSU FMPR-101B」
「FUJITSU FMPR-102G」　「FUJITSU FMPR-601」
「FUJITSU FMPR-303G」　「FUJITSU FMJP-101G」
「FUJITSU FMPR-221G」

幅：50 ～ 420.0mm（1.79 ～ 16.5 インチ）高さ：50 ～ 420.0mm（1.79 ～ 16.5 インチ）のドライバ

（136 桁プリンタ）

「FUJITSU FMPR 360」　「FUJITSU FMPR 360 (Color)」
「FUJITSU FMJP-211」

幅：25.4 ～ 345.4mm（1 ～ 13.6 インチ）高さ：25.4 ～ 558.8mm（1 ～ 22 インチ）のドライバ

（ESC/P シーケンス）

「FUJITSU ESC/P」　「FUJITSU FMPR-375E」
「FUJITSU FMLP-371E」　「FUJITSU FMP-PR121G」

キーボード関連の留意事項

■ 親指シフトキーボード

- 親指シフトキーボード特有のキー（「～」、「『」、「』」、「£」など）は、これらの文字の出力をサポートしたかな漢字モジュールを使用しなければ入力できません。
- IME 起動時に数字、記号キーを押すと、IME の入力モードが英数に変わります。一度【カタカナ／ひらがな】キーを押してください。
- WindowsNT 上で動作する MS-DOS アプリケーションでは、親指シフトキーボードでの日本語入力はできません。

■ 起動時のキーボード入力

WindowsNT 起動時にキーボードから入力を行うと、イベントビューアに「ソース：i8042prt/イベント ID：19」のエラーが記載されることがあります。しかし、本パソコンを使用するうえで問題はありません。

PC カード

PC カードは、パソコン本体の電源を入れる前にセットしてください。
ただし、Portables Suite の Card Executive（→ P.41）をインストールした場合は、パソコン本体の電源を入れたあとでも PC カードをセットできます。
PC カードをお使いになる場合は、ドライバのインストールが必要になることがあります。
ドライバのインストール方法などの詳細は、PC カードに添付のマニュアルをご覧ください。

■ CardBus 対応の PC カード

WindowsNT 4.0 では、CardBus 対応の PC カードは使用できません。
ただし、Portables Suite の Card Executive（→ P.41）を使用中は、一部の CardBus 対応 PC カードを使用できます。
Card Executiveが対応しているPCカードの一覧は、「ドライバーズCD」内の「¥Update¥Psuite¥Readme.txt」に記載されています。

CD-ROM の取り出し

CD-ROM ドライブの EJECT ボタンを押しても、CD-ROM が取り出せないことがあります。その場合は、次の手順で CD-ROM を取り出してください。

1 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。

2 CD-ROM ドライブのアイコンを右クリックし、「取り出し」をクリックします。

フロッピーディスクドライブユニットの着脱（〔MF〕）

フロッピーディスクドライブユニットを取り外した状態で A ドライブにアクセスすると、応答に時間がかかる場合があります。

FM Advisor の CPU 情報表示

FM Advisor の「CPU 情報」の表示において、CPU 名・CPU クロックが正しく表示されない場合があります。あらかじめご了承ください。

日本語入力システムが 2 つ以上組み込まれている場合

MS-IME97 以外の日本語入力システムが組み込まれている場合、一度ログオフしてから再度ログオンすると、画面に日本語入力システムのツールバーが 2 つ表示されることがあります。標準に設定されていない日本語入力システム（【漢字】キーを押しても、アクティブにならない）を操作しなければ問題ありませんが、操作を行った場合、画面上にウィンドウの跡が残ることがあります。この場合は、WindowsNT を再起動してください。

Windows Media Player などによる動画および音声再生

動画ファイルおよび音声ファイルを複数同時に起動すると、正しく再生できない場合があります。このような場合はファイルを 1 つだけ起動して、再生することをお勧めします。

2 ファイルシステムの変換

本パソコンのハードディスク上のシステムドライブは、FAT ファイルシステムでフォーマットされています。
FAT から NTFS に変換することで、セキュリティや信頼性を強化できます。
ファイルシステムを NTFS に変換する方法は、次のとおりです。

POINT

- NTFS に変換した場合、WindowsNT 4.0、Windows2000 以外のオペレーティングシステムからは、そのパーティションのファイルにアクセスできなくなります。

	WindowsNT 4.0		Windows2000	Windows98	Windows95 OSR2 以降
	Service Pack4 以降	Service Pack3 以前			
WindowsNT の NTFS	○	○	○	×	×
Windows2000 の NTFS	○	×	○	×	×
FAT32	×	×	○	○	○
FAT16	○	○	○	○	○

- すでに作成されているショートカットから、アプリケーションが起動できなくなる場合があります。このときは、ショートカットを削除し、再度作成してください。

1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。
「コマンドプロンプト」ウィンドウが表示されます。

3 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
convert  n:  /fs:ntfs  /v
```

(n には、ファイルシステムを変換するドライブ名を指定します)
ブートパーティションを変換する場合は、次のメッセージが表示されます（ブートパーティションが C ドライブの場合)。
「ファイルシステムの種類は FAT です。
CONVERT で C: ドライブへの排他的アクセスを実行できないため、現時点では変換できません。次回のシステム再起動時にドライブの変換をスケジュールしますか (Y/N)?」

4 【Y】キーを押し、【Enter】キーを押したあと、WindowsNT を再起動します。
このとき、WindowsNT は 2 回再起動します。

3 PHDISK ユーティリティについて

ここでは、PHDISK ユーティリティの概要、使用方法およびオプションについて説明します。

PHDISK ユーティリティの概要

- **機能**
  Save To Disk 領域の作成、再フォーマット、削除および詳細情報の表示
- **格納場所**
  「ドライバーズ CD」の ¥Fjuty フォルダ内
- **動作環境**
  MS-DOS、Windows98 の MS-DOS モード（WindowsNT 4.0 上では動作しません）
- **Save To Disk 領域の必要容量**
  メインメモリ容量 + ビデオメモリ容量 + 作業領域
  （区画形式で Save To Disk 領域を作成する場合は、ファイル形式で Save To Disk 領域を作成する場合よりも、大きな容量が必要になります）

POINT

- ファイル形式で作成された Save To Disk 領域を、「ドライブスペース」などのディスク圧縮機能で圧縮したドライブ上で使用することはできません。Save To Disk 領域をファイル形式で作成した場合は、ディスク圧縮機能を使用しないでください。
- 本パソコンに添付の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」でパソコン本体を起動すると、MS-DOS 環境になります。このとき、CD-ROM ドライブは「Q」になります。

PHDISK ユーティリティの使用方法

PHDISK ｛オプション｝
オプションは次のとおりです。
　/CREATE　/FILE（または /PARTITION）
　/DELETE　/FILE（または /PARTITION）
　/REFORMAT　/PARTITION
　/INFO
それぞれのオプションは、先頭の 1 文字だけでも有効です。たとえば、/CREATE と /C は同じです。PHDISK とオプションの間、オプションとオプションの間は、それぞれ半角空白を 1 つ入れてください。また、PHDISK をオプションなしで起動すると、簡単な使用方法、現在作成されている領域などが表示されます。

オプションについて

- /CREATE /FILE（または /PARTITION）

  このオプションは Save To Disk 領域がまだ作成されていない場合に使用します。

  /CREATE /FILE と指定すると、Save To Disk 領域をファイル形式で作成します。

  /CREATE /PARTITION と指定すると、Save To Disk 領域を区画形式で作成します。Save To Disk 領域の容量は、現在のシステム構成で最適な容量の領域を作成します。

  区画形式で作成した場合、Save To Disk 領域の作成が終わると、その区画のフォーマットを開始します。フォーマット中にハードディスクに不良セクタを見つけた場合は、そのセクタにマークを付けて、以後使用しないようにします。

  重 要

  - ご購入時の設定では、ハードディスクに未使用領域がないため、区画形式で Save To Disk 領域を作成する際、FDISK ユーティリティを使用して区画情報の変更が必要となります。大切なデータはバックアップしてください。
  - Save To Disk 領域を作成した場合は、必ずパソコン本体を再起動してください。作成した直後に Save To Disk を行うと正しく動作しない場合があります。
  - Save To Disk 領域はファイル形式または、区画形式のどちらか一方しか作成できません。
  - ファイル形式は、FAT ファイルシステムの場合のみ利用できます。

- /REFORMAT /PARTITION

  区画形式で作成されている Save To Disk 領域を再フォーマットします。

  このオプションは、Save To Disk 機能を使用していて、読み出しエラーや書き込みエラーが起こった場合に使用してください。すでに作成されている Save To Disk 領域を再フォーマットします。再フォーマット中にハードディスクに不良セクタを見つけた場合は、そのセクタにマークを付けて、以後使用しないようにします。Save To Disk 領域の容量が変わることはありません。

- /DELETE /FILE（または /PARTITION）

  すでに作成されている Save To Disk 領域を削除する場合に使用します。

  /DELETE /FILE と指定すると、ファイル形式の Save To Disk 領域を削除します。

  /DELETE /PARTITION と指定すると、区画形式の Save To Disk 領域を削除します。

  Save To Disk 領域の容量を変更したい場合は、まず、/DELETE によってすでに作成された Save To Disk 領域を削除したあと、/CREATE によって新たに希望の容量の Save To Disk 領域を作成します。

  重 要

  - 区画形式で作成された Save To Disk 領域の容量を増やす場合は、システムが使用している区画の容量を FDISK ユーティリティを使用して減らす必要があります。区画容量を変更すると、それまでのデータはすべて失われます。作業前に大切なデータのバックアップを忘れないでください。

● /INFO

すでに作成されている Save To Disk 領域に関する詳細情報を表示します。

表示例

《区画形式》

Save to Disk 領域詳細情報：

開始セクタ：XXXXXXX（ヘッド X、シリンダ XXX、セクタ X）

全容量：XXXXX バイト

現在の状態：

現在の構成では、XXXXXk バイトの Save to Disk 領域が必要です。PHDISK は更に多少の作業領域を必要とし、実際に必要な全領域のバイト数を自動的に計算します。

《ファイル形式》

Save to Disk 領域詳細情報：

現在の Save to Disk 領域は、ファイル名が C:¥SAVE2DSK.BIN で、サイズは XXXXXk bytes です。属性は、システム、隠しファイル、および読取専用です。

現在の状態：

現在の構成では、XXXXXk バイトの Save to Disk 領域が必要です。PHDISK は更に多少の作業領域を必要とし、実際に必要な全領域のバイト数を自動的に計算します。

索引

記号

3 モードフロッピーディスク
ドライバのインストール 53

A

Acrobat Reader 15, 74
　ーのインストール 56

B

BIOS セットアップの設定 49

C

Card Executive. 28
　ーのアンインストール 31
　ーのインストール 30
　ーの操作方法 41
CardBus 対応の PC カード 81
CD-ROM. 17
　ーの取り出し 82

F

FAT 18, 83
FM Advisor 69
　ーの CPU 情報表示 82
　ーのインストール 56
FMKEEPER 16
　ーのインストール 61
FM-Menu 16
　ーのインストール 61
FMV 診断 15, 69
　ーのインストール 56

G

GlidePoint. 16
　ーのインストール 59

I

Intel SpeedStep 15, 45
　ーのインストール 55
Internet Explorer 5.0 16
　ーのインストール 57
Internet Explorer 5.01 15

L

LAN の設定を変更する. 79

M

MODEL. 71
MO ディスクフォーマッタ 67
MS-IME97 15
MS-IME98 16
　ーのインストール 57

N

NIFTY MANAGER. 16
　ーのインストール 61
NoteDock 28
　ーのアンインストール 32
　ーのインストール 30
　ーの操作方法 43
NTFS. 18, 83
NumLock 67

P

PC カード. 81
PHDISK ユーティリティ 84
Portables Suite. 16, 28
　ーのアンインストール 30
　ーのインストール 28
PowerPanel 28
　ーのアンインストール 30
　ーのインストール 30
　ーの起動 33
　ーの終了 33
　ーの操作方法 33

Q

Q&A 64

S

Save To Disk 機能. 35
Save To Disk 領域. 35
　ーの作成. 36, 84

T

TCP/IP プロトコルの追加. 27
TouchPad. 16
　ーのインストール. 58

U

Ultra DMA/33 の設定 55

V

VirusScan. 16, 20
　ーのインストール. 60

W

WindowsNT. 15
　ー Service Pack6a の
　　インストール. 53
　ー Service Pack6a の留意事項 75
　ーセットアップ. 10
Windows 環境調査ツール
（FM Advisor）. 15

あ

色数 23
親指シフトキーボード. 81

か

解像度 23
仮想スクリーンモード. 23, 24, 25
画面の設定. 23
キーボード. 17
　ーの留意事項. 81
機種名 71
コンピュータウイルス. 20
　ーの被害届け. 21
　ーを発見した場合. 21

さ

サウンド 17
サスペンド状態 40
識別 17
自動ログオン 68
使用許諾契約 11
情報サービス 71
情報処理振興事業協会 21
シリアルケーブル接続 67
スーパーディスクドライブの
取り付け 77
スーパーフロッピー形式の
光磁気ディスク 78
全画面表示の設定（〔NA〕〔NU〕）. 78

た

ダイヤルアップ接続 77
他の OS 74
ディスクアドミニストレータ. 75
ディスプレイアダプタ 17
電源切断用 HAL 15
添付ソフト 16
動作状態 41
ドライブ構成 18
トラブル 64

な

ナンバーディスプレイ対応の
電話番号に接続する 78
ネットワーク 17
　ー使用時の留意事項. 78
　ーの設定. 27

は

はじめよう！インターネット
（@nifty）. 16
　ーのインストール. 61
パスワード 67, 68
光磁気ディスク 66
　ードライブをスーパーフロッピー
　　形式で使用する. 67
ビデオ CD 78
表示装置を切り換える 26
ファイルシステム 18
ファイルシステムの変換. 83

プリンタ
　ーの追加方法 66
　ーの留意事項 80
プレインストールソフト 15
フロッピーディスク 17
　ードライブユニットの着脱 82
プロトコル 17

ま

マウスポインタのデザインを変える . . 69
モデム 17
　ーの追加方法 64

や

ユーザー登録 13

ら

リカバリ 48
　ー CD-ROM 起動ディスクの
　　コピー 13
レジューム 40
連絡先 71

わ

ワンタッチボタン設定 16
　ーのインストール 60

FMV-6750NA7/B　FMV-6650NU7/L
FMV-6600NU7/L　FMV-650NU7C/L
FMV-650NU7C/W　FMV-6600MF7/X
FMV-645MF7C/W

WindowsNT® 4.0 モデル
ソフトウェアガイド
B5FH-0511-01-00

発 行 日　2000 年 6 月
発行責任　富士通株式会社

● 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
● 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
● 無断転載を禁じます。